

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化行政一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	目	文化振興・国際交流費	連絡先	(078)918-5607			
	事業	文化行政推進事業	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則			
	2-4 文化芸術の振興			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画			委託			指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	文化行政の一般管理事務及び市職員
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。

事業内容	<平成23年度> 文化行政の一般管理事務を行う。		
	<平成24年度> 文化行政の一般管理事務を行う。		
	<平成25年度> 文化行政の一般管理事務を行う。		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	849	7,100	7,949	0	0	0	7,949				
24当初予算	1,068	5,926	6,994	0	0	0	6,994	正規	0.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	925	5,926	6,851	0	0	0	6,851	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	1,050	4,410	5,460	0	0	0	5,460	任期付	0.10	合計	0.60

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		旅費	近接地旅費等		174		旅費
	需用費	事務用品、コピー用紙等	265		需用費	事務用品、コピー用紙等	395
	使用料及び賃借料	コピー使用料等	480		使用料及び賃借料	コピー使用料等	600
	負担金補助及び交付金	学会参加負担金	6				
	合計		925		合計		1,050

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-001	事務事業名	文化行政一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
限られた予算の中で、文化行政の一般管理事務を遂行している。引き続き、効果的な事務推進に努める。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 002			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 19 年度
	事業	文化行政推進事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
個別計画	文化芸術創生基本計画		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組むなど、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。
事業内容	<平成23年度>	明石文化芸術創生会議を3回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。 基本計画に定める中間支援組織のあり方の検討と設立準備。
	<平成24年度>	明石文化芸術創生会議を1回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。
	<平成25年度>	明石文化芸術創生会議を開催予定(3回開催予定)。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,369	5,270	6,639	0	0	0	6,639	正規	0.80	パート	0.00
24当初予算	3,026	6,384	9,410	0	0	0	9,410	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	1,791	6,384	8,175	0	0	0	8,175	任期付	0.00	合計	0.80
25当初予算	3,484	6,640	10,124	0	0	0	10,124				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	文化芸術創生会議委員報酬	79		297	報酬	文化芸術創生会議委員報酬
報償費	アーティスト派遣謝礼、アートフルウィーク出演謝礼等	885	880	報償費	指導謝礼、アーティスト派遣謝礼	880	
需用費	用紙代消耗品・印刷費等	375	156	需用費	用紙代消耗品・印刷費等	156	
委託料	アートフルウィーク内事業委託	158	130	役務費	文化芸術創生会議等音声反訳	130	
使用料及び賃借料	アートフルウィーク会場使用料	229	2,000	委託料	アートフルウィーク開催委託	2,000	
その他	文化芸術創生会議委員出席旅費、文化芸術創生会議等音声反訳等	65	21	使用料及び賃借料	会議室使用料	21	
合計			1,791	合計			3,484

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-002	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
明石文化芸術創生基本計画に基づく、実施計画を作成し、文化の息づくまちづくりを推進するために具体的な事業を展開している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性					×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
文化芸術創生基本計画推進事業については、明石文化芸術創生基本計画やアクションプランに基づいて実施するもので、第3者機関である明石文化芸術創生会議にて評価・検証を行っている。有効性や効率性を常に念頭に置き、「今すべき事業」「推進しなければならない事業」を精査し、スクラップアンドビルドを徹底して事業実施しており、当事業の内容は今必要と判断しているものばかりである。今後も、明石文化芸術創生会議からの提言を踏まえ、スクラップアンドビルドに努め、費用削減について検討する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	芸術祭等開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	文化振興・国際交流費							
	事業	文化芸術振興事業							
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607					
個別計画	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度			
			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の文化芸術活動を支援することにより、市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組む機会を提供し、もって本市の文化芸術活動の一層の振興を図る。また、次世代への文化の継承や文化に触れる機会を提供する。
事業内容	<平成23年度>	
	① 市芸術祭 ・明石ステージアート2011、邦舞・邦楽のつどい、いけばな展(こどもいけばな体験も合わせて開催)、音楽のつどい茶会(親子茶道体験も合わせて開催)、吹奏楽の夕べ、美術展を開催。	
	② 明石現代作家展・・・市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。	
事業内容	<平成24年度>	
	① 市芸術祭 ・明石ステージアート2012、邦舞・邦楽のつどい、いけばな展(こどもいけばな体験も合わせて開催)、音楽のつどい茶会(親子茶道体験も合わせて開催)、吹奏楽の夕べ、美術展(ジュニアの部創設)を開催。	
	② 明石現代作家展・・・市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。	
事業内容	<平成25年度>	
	① 市芸術祭 ・吹奏楽の夕べ・・・・・・・・ 8月25日(日) 市民会館大ホールで開催予定。 ・民謡・民舞と邦楽のつどい・ 10月20日(日) 生涯学習センター子午線ホールで開催予定。 ・明石ステージアート2013・・・・・・・・10月27日(日) 市民会館大ホールで開催予定。 ・音楽のつどい・・・・・・・・11月2日(土) 市民会館大ホールで開催予定。 ・茶会・・・・・・・・ 11月4日(日)生涯学習センターで開催予定。親子茶道体験も合わせて開催する予定。 ・いけばな展・・・・・・・・ 11月8日(金)～10日(日) 生涯学習センターで開催予定。 こどもいけばな体験も合わせて開催する予定。 ・美術展・・・・・・・・前期: 11月20日(水)～24日(日)、後期: 27日(水)～12月1日(日) 文化博物館で開催予定。	
	② 明石現代作家展・・・市美術展審査員・実行委員による作品展。3月12日(水)～16日(日) 文化博物館で開催予定。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
23決算	7,263	6,995	14,258	0	0	200	14,058	正規	1.05	アハハ	0.00	
24当初予算	7,263	7,264	14,527	0	0	200	14,327					
24決算	7,263	7,264	14,527	0	0	194	14,333	再任用	0.00	その他	0.00	
25当初予算	7,263	10,015	17,278	0	0	200	17,078	任期付	0.50	合計	1.55	
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額					
	委託料	明石市芸術祭等開催委託	7,263		委託料	明石市芸術祭等開催委託	7,263					
合計			7,263	合計			7,263					

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-003	事務事業名	芸術祭等開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の 成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。						

事業の 評価・ 今後の 方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
				×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
芸術祭は、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供するとともに参加や鑑賞することで文化意識の向上を図ることが出来る必要性が高い事業である。また、平成23年度から「いけばな展」については“こども体験教室”、「茶会」については“親子茶道体験”を実施。24年度から「美術展」については“ジュニアの部”を創設、「音楽のつどい」については中学校まで出演者の枠を広げるなど、こども達が発表できる場を提供している。今後もこども達の文化芸術への参加を促進するとともに、各事業内容や予算等を精査しながら費用削減について検討する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	文芸祭開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 004			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計						
	款	総務費						
	項	総務管理費						
	目	文化振興・国際交流費						
	事業	文化芸術振興事業						
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607				
個別計画	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度		
			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の文芸に対する関心と認識を深め、創作意欲の向上や創作活動へのきっかけづくりを図るとともに、文芸作品の発表の機会を提供する。
事業内容	<平成23年度> 自由作品（俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門）を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また、優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。応募作品数の多かった俳句、川柳、短歌のジュニアの部（中学生以下）については、佳作を選出し、ジュニア佳作集を作成し、各生徒、市内小中学校に配布。 応募作品数 7,269点。	
	<平成24年度> 自由作品（俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門）を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。応募作品数の多い俳句、川柳、短歌のジュニアの部（中学生以下）については、昨年度選出した佳作に変わり、今年度は“ジュニア奨励賞”を設けて「ことのはものがたり」に入れ込み作品集の充実を図った。 応募作品数 6,267点	
	<平成25年度> 自由作品（俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門）を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。第40回を記念し、作品集、表彰式のさらなる充実を図る。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,920	3,825	5,745	0	0	469	5,276	正規	0.65	アハハ	0.00
24当初予算	1,940	3,490	5,430	0	0	420	5,010				
24決算	1,920	3,490	5,410	0	0	457	4,953	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	1,940	5,655	7,595	0	0	420	7,175	任期付	0.10	合計	0.75

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	文芸祭開催委託	1,920			旅費	事務協議
				委託料	文芸祭開催委託	1,920	
	合計		1,920		合計	1,940	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-004	事務事業名	文芸祭開催事業
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)	人	4271	3601	3,650
	指標で表せない成果					
文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品の市民の文化意識の一層の向上をはかる。一般については日頃の発表の場となる。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性				×	×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
「文芸祭」は“文化の息づく街づくり”の一環として文芸に対する関心を深め創作のきっかけづくりとなっている。平成24年度から、一部データでの応募可能にするなど応募要項の改善を図るとともに、ジュニアの部については新たに“ジュニア奨励賞”を設け子ども達の文芸の励みになるよう実施している。今後もさらなる検討を重ね、費用削減について検討する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	街角イベント推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 005				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度			
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営		補助・助成		その他	
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託	○	指定管理			

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)	音楽の活動をするグループや個人に発表の場を提供するとともに、市民が身近な場所で音楽に触れ親しむ機会を提供する。また、賑わいのあるまちづくりにも資する。							
事業内容	<p><平成23年度> 明石コミュニティー創造協会への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」や「たこたこジャズフェスティバル」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。(登録者85組 派遣実績23回) ①あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやイオン明石2番街海の広場等で開催。 ②たこたこジャズフェスティバル2011…9月23日に子午線ホールなどで開催。 ③明石音楽祭……9月18日にグリーンヒルホテル明石であかしまちかどミュージシャン出演の演奏会を開催。</p>								
	<p><平成24年度> 明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」や「たこたこジャズフェスティバル」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。 ①あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやイオン明石2番街海の広場、イトーヨーカドー等で開催。 ②たこたこジャズフェスティバル2012…9月22日に子午線ホールで開催。 ③明石音楽祭……2月3日にグリーンヒルホテル明石で開催。</p>								
	<p><平成25年度> 明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催予定。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。 ①あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやイオン明石2番街海の広場、イトーヨーカドー等で開催。 ②まちかどミュージシャン出演のイベント開催予定。</p>								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
23決算	2,000	340	2,340	0	0	0	2,340				
24当初予算	2,000	336	2,336	0	0	0	2,336	0.25	0.00	0.00	0.00
24決算	2,000	336	2,336	0	0	0	2,336	0.00	0.00	0.00	0.00
25当初予算	820	2,075	2,895	0	0	0	2,895	0.00	0.00	0.00	0.25
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額				
	委託料	街角イベント開催委託	2,000		委託料	街角イベント開催委託	820				
	合計		2,000		合計		820				

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-005	事務事業名	街角イベント推進事業
-------------	----------------	--------------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
ホール施設以外のまちかど等で市民が気軽に音楽に触れ親しむ機会を提供できている。また、芸術活動を行おうとする市民に発表の場を提供している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
街角イベントの経費は、「あかしふれあいコンサート」にかかる費用が大半を占める。 「あかしふれあいコンサート」等の街角イベントは、市民生活に密着した場所で市民が気軽に文化芸術に出会い関わることのできる機会を提供し、賑わいのあるまちづくりにも貢献している。「あかしふれあいコンサート」の出演者は、市内の中学・高校の吹奏楽部が中心で、子どもたちが日頃の練習成果を発表する貴重な機会ともなっている。 平成25年度に「たこたこジャズフェスティバル」と「明石音楽祭」については、入場料・出演料を徴収し自主財源化することで、明石文化芸術創生財団による自主事業化への転換を図ったところである。 今後は、事業の適正化の維持に努めていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	財団支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 006				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費							
	項	総務管理費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	目	文化振興・国際交流費	連絡先	(078)918-5607					
	事業	文化芸術振興事業	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度			
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等						
	2-4 文化芸術の振興								
個別計画			実施方法	直営		補助・助成	○	その他	
				委託	○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石文化芸術創生財団
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化の息づくまちづくりを推進するため、市の文化芸術全般にわたる業務を担う明石文化芸術創生財団に対して支援を行う。
事業内容	<平成24年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。	
	<平成25年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0				
24当初予算	15,210	2,100	17,310	0	0	0	17,310	正規	0.45	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	15,210	2,100	17,310	0	0	0	17,310	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	16,460	3,735	20,195	0	0	0	20,195	任期付	0.00	合計	0.45

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	財団運営補助金		15,210		委託料
					負担金補助及び交付金	財団運営補助金、文化団体活動補助金	16,160
	合計		15,210		合計		16,460

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-006	事務事業名	財団支援事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果						
	指標で表せない成果					

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					

明石文化芸術創生基本計画においては、重点施策として「コーディネート機能を持つ中間支援組織の設置」を掲げている。明石文化芸術創生財団が、中間支援組織としての役割を果たすことで、市民全体の文化芸術振興の基盤づくりを行い、「文化の息づくまちあかし」の実現に資する効果は高いと認められる。
 今後は、財団が行う事業についての協議を深め、①市民交響楽団運営事業については、市民交響楽団が主体的に運営できるよう検討、②中間支援組織としての機能が十分果たせるよう連携しながら支援、を継続していく。

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術子どもクラブ開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 007		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	文化芸術振興事業					
事業の分割/統合の内容	事業所管課 文化・スポーツ部文化振興課						
	連絡先 (078)918-5607						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等 文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画		実施方法				
							直営
				委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	子ども
	意図（どういう状態にしたいのか）	次代を担う子どもたちが文化芸術に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的とする。
事業内容	参加対象者：小学生から高校生まで（原則） 対象団体：社団、財団、NPO法人など ※ 年度内に初心者を含む10人以上の参加者で10回以上の活動を市内の公的施設で開催することを原則とする。	
	<p><平成23年度> 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、募集の結果、短歌教室、キッズダンス、バレエの3団体に対し、助成を決定し、文化芸術子どもクラブを開催した。初心者を含む子どもたち57名が参加した。</p> <p><平成24年度> 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、募集の結果、キッズダンス、デッサン、陶芸、即興演劇、リコーダークラブ、紙芝居の6団体に対し、助成を決定し、文化芸術子どもクラブを順次開催。初心者を含む子どもたち141名が参加した。</p> <p><平成25年度> 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、助成を行う。</p>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	538	3,995	4,533	0	0	0	4,533	正規	0.25	パート	0.00
24当初予算	2,540	2,520	5,060	0	0	0	5,060	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	959	2,520	3,479	0	0	0	3,479	任期付	0.00	合計	0.25
25当初予算	2,048	2,075	4,123	0	0	0	4,123				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	選考委員謝礼	16		23	報償費	選考委員謝礼
使用料及び賃借料	会場使用料	2	11	需用費	募集要項用色上質紙	11	
負担金補助及び交付金	文化芸術子どもクラブ開催事業補助金	941	14	使用料及び賃借料	会場使用料	14	
			2,000	負担金補助及び交付金	文化芸術子どもクラブ開催事業補助金	2,000	
	合計		959		合計		2,048

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-007	事務事業名	文化芸術こどもクラブ開催事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	子どもの参加人数	こどもクラブに参加申込みした人数	人	57	141	150
指標で表せない成果						
こどもたちの文化芸術活動の参加・体験活動の場を提供している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×			
現状の課題・今後の事業展開方針等						
こどもクラブの開催については、文化団体等が自発的にこどもの文化芸術活動の支援を行う仕組みを作り、こどもたちの文化芸術活動の促進を図っている。しかも、平成23年度からは助成制度の見直しを行い、助成金の中で大きな割合を占めていた謝金を助成対象外としている。主旨に賛同してもらった団体等の協力を得ながら、限られた助成金の中で少しでも多くこどもたちに様々な体験の場を提供できるよう努めており、費用対効果も高いものである。 今後も、費用削減について検討していく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民交響楽団支援事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 008		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等		文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法		直営	補助・助成	○	その他
	2-4 文化芸術の振興		委託	指定管理				
個別計画	文化芸術創生基本計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	音楽文化のすそ野の拡大と質の向上を図るため、市民力を活用したアマチュアの市民管弦楽団の運営に対する支援を行い、「音楽のあふれるまちづくり」を一層推進する。
事業内容	<平成23年度>	
	7月10日(日) 第2回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月11日(日) 第10回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 12月18日(日) 第29回明石第九演奏会で演奏。 2月5日(日) 第3回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催。 3月18日(日) 第11回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動21回(ジュニア・オーケストラ分含む)。	
	<平成24年度>	
	7月8日(日) 第4回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 8月16日(木) 「たこフィル倶楽部」会員対象「ありがとうコンサート」をグリーンヒルホテル明石で開催。 9月17日(月・祝) 第12回定期演奏会市民会館大ホールで開催。 12月16日(日) ファミリーコンサートを市民会館大ホールで開催。 2月3日(日) 第5回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催。 3月24日(日) 第13回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動24回(ジュニア・オーケストラ分含む)。	
	<平成25年度>	
	7月7日(日) 第6回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月8日(日) 第14回定期演奏会市民会館大ホールで開催(予定)。 2月2日(日) 第7回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催(予定)。 3月16日(日) 第15回定期演奏会を市民会館大ホールで開催(予定)。 ・アウトリーチ活動(予定)。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
23決算	7,000	340	7,340	0	0	0	7,340					
24当初予算	3,500	1,512	5,012	0	0	0	5,012	正規	0.15	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00	
24決算	3,500	1,512	5,012	0	0	0	5,012	再任用	0.00	その他	0.00	
25当初予算	3,000	1,245	4,245	0	0	0	4,245	任期付	0.00	合計	0.15	
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額					
		負担金補助及び交付金	3,500			負担金補助及び交付金	運営補助	3,000				
	合計		3,500		合計		3,000					

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-008	事務事業名	市民交響楽団支援事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。	回	21	24	25
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
	<p>「音楽のあふれるまちづくり」推進のため、市民交響楽団はシンボリック的存在となっており、音楽文化のすそ野の拡大や市民の芸術鑑賞機会の拡充にも貢献している。</p> <p>市民交響楽団の事務局を担っている明石文化芸術創生財団と協議を進め、運営のあり方を検討し、市民交響楽団自身が主体的に運営できるよう方向性を定めていく。これまでも補助金を段階的に削減しているが、今後も自主運営化の取り組みと合わせて費用削減していく。</p>					

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 009	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	伝統文化である将棋に親しむとともに、豊かな人間性を身につける機会を提供する。

事業内容	<平成23年度>	2月4日(土)小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月5日(日)プロ棋士による指導対局、ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰と内藤九段との記念対局、明石市在住の女流初段のインタビュー、プロ棋士の公開対局を開催。 プレイベントとして12月に親子将棋入門教室を開催し、参加者を本番の青少年将棋大会へ招待(17名)
	<平成24年度>	2月9日(土)小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月10日(日)プロ棋士による指導対局、ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰とプロ棋士との記念対局、プロ棋士の公開対局を開催。 プレイベントとして12月に親子将棋入門教室を開催し、参加者を本番の青少年将棋大会へ招待する。
	<平成25年度>	・親子将棋入門教室、青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局については、明石文化芸術創生財団に移管して実施。 ・ホールプログラムは明石文化芸術創生財団に委託し、継続開催予定。(2月8日(土)・9日(日)に開催予定) (内容)明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰・プロ棋士との記念対局、プロ棋士の公開対局。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,310	4,345	5,655	0	0	0	5,655	正規	0.30	アルバイト	0.00
24当初予算	1,170	2,070	3,240	0	0	0	3,240	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	1,366	2,070	3,436	0	0	0	3,436	任期付	0.00	合計	0.30
25当初予算	500	2,490	2,990	0	0	0	2,990				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	司会謝礼	83		25年度当初予算事業費明細	委託料	将棋フェスティバル開催委託
需用費	副賞、消耗品	66					
役務費	ホール舞台人件費	43					
委託料	将棋フェスティバル開催委託	1,050					
使用料及び賃借料	会場使用料	124					
合計			1,366	合計			500

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-009	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業
------	----------------	-------	-----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	参加申込み	参加申込み人数	人	442	506	450
	指標で表せない成果					
将棋を通じ、社会の基本的なルールや思いやり、礼儀を学ぶとともに伝統文化に触れる機会を提供している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性		×				
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
将棋は、次代を担う子ども達の育成に役立てる有意義な事業であり、平成23年には現役高校生のプロ棋士が明石市に誕生し市民の関心を寄せている。平成25年度は、「青少年将棋大会」「プロ棋士による指導対局」について参加費を徴収して開催するなど予算削減に努めており、今後、さらに内容を精査し、費用削減について検討する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	中崎寄席開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 010		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 2 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	2-4 文化芸術の振興			委託		指定管理	
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民に優れた古典芸能を鑑賞する機会を提供するとともに、伝統文化にふれ親しむ機会の拡充を図る。

事業内容	＜平成23年度＞	生涯学習センター子午線ホールで、寄席を開催。 10月2日(日)に開催。
	＜平成24年度＞	生涯学習センター子午線ホールで、寄席を開催。 10月13日(土)に開催。
	＜平成25年度＞	中崎公会堂で、寄席を開催予定。 11月10日(日)に開催予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,585	3,851	5,436	0	0	1,055	4,381	正規	0.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	1,925	3,386	5,311	0	0	900	4,411	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	1,834	3,386	5,220	0	0	1,055	4,165	任期付	0.00	合計	0.30
25当初予算	870	2,490	3,360	0	0	315	3,045				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品、チラシ印刷費等	72		報償費	出演謝礼	600
役務費	舞台人件費、チケット販売手数料	188	需用費	消耗品、チラシ印刷、昼食代	74		
委託料	出演委託料	1,500	役務費	舞台人件費、チケット販売手数料	119		
使用料及び賃借料	会場使用料	74	使用料及び賃借料	会場使用料	77		
	合計		1,834		合計	870	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-010	事務事業名	中崎寄席開催事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	参加人数	鑑賞した人数	人	293	293	200
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>「中崎寄席」は平成2年から、中崎公会堂において、市民が身近に古典芸能を鑑賞する機会を提供するとともに市民が身近に触れることで生活に潤いと安らぎを提供してきた。出演者の希望により23年度と24年度は明石市生涯学習センター子午線ホールで実施したが、平成25年度は再び中崎公会堂において市民会館との共催事業として開催。今後、市民会館と事業内容を協議しながら費用削減について検討する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石薪能開催事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 011			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	総務費								
	項	総務管理費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	目	文化振興・国際交流費			連絡先	(078)918-5607				
	事業	文化芸術振興事業			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 元 年度		
施策分野		2 教育・文化分野			根拠法令・要綱等					
		2-4 文化芸術の振興								文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例
個別計画		文化芸術創生基本計画			実施方法					
										直営
					委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	市民									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供することにより伝統文化に親しむ機会の拡充を図る。									
事業内容	<平成23年度> 第14回明石薪能を明石公園で開催。 明石薪能本番前に「こども仕舞」の練習成果の舞台発表。（参加者17名） 10月22日（土）入場者数 約600人。									
	<平成24年度> 第15回明石薪能を明石公園で開催。 明石薪能本番前に「こども仕舞」の練習成果の舞台発表。（参加者18名） 9月16日（日）入場者数 約1,300人。									
	<平成25年度> 第16回明石薪能を明石公園で10月5日（土）開催予定。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表する。									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
23決算	5,000	7,931	12,931	0	0	0	12,931					
24当初予算	5,000	5,066	10,066	0	0	0	10,066	正規	0.60	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00	
24決算	5,000	5,066	10,066	0	0	0	10,066	再任用	0.00	その他	0.00	
25当初予算	5,000	5,240	10,240	0	0	0	10,240	任期付	0.10	合計	0.70	
24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額					
		負担金補助及び交付金	5,000			負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金	5,000				
合計			5,000	合計			5,000					

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-011	事務事業名	明石薪能開催事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供できている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の 評価・ 今後の 方向性		×		×	×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
優れた伝統芸能を守り、次代へと継承していくことは、市の重要な責務であると認識している。しかし、明石公園にて組立式能舞台を用いて薪能を開催するにあたっては、毎回組立・撤去に多額の経費を必要とし、費用対効果を考えると効果的な事業運営が行えているとは言い難いと考えている。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		子ども・親子対象芸術鑑賞事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 012		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度		
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
施策分野		2 教育・文化分野	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
		2-4 文化芸術の振興			委託		指定管理	
個別計画		文化芸術創生基本計画						
事業 の 目的	対象（誰を・何を）							
	市民							
事業 内容	意図（どういう状態にしたいのか）							
	次代を担う子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術に触れる機会の少ない乳幼児を抱える子育て世代の鑑賞機会の拡充を図る。							
<p><平成23年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を試行実施。 平成23年10月16日 明石市立西部市民会館練習室で2回開催。 入場者数 2公演合わせて43組 116名</p> <p><平成24年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催。 平成24年10月3日 明石市立西部市民会館ホール 入場者数 90組 210名 平成24年10月7日 明石市生涯学習センター子午線ホール 入場者数 80組 208名</p> <p><平成25年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催予定。 平成25年9月8日 明石市立西部市民会館ホール 入場者数 110組 300名 平成25年9月18日 明石市生涯学習センター子午線ホール 入場者数 80組 190名</p>								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	21	0	21	0	0	0	21	正規	0.25	パート	0.00
24当初予算	397	2,268	2,665	0	0	0	2,665	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	308	2,268	2,576	0	0	0	2,576	任期付	0.00	合計	0.25
25当初予算	860	2,075	2,935	0	0	0	2,935				
24年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額				
	報償費	出演謝礼	270		報償費	出演謝礼、司会謝礼	478				
	使用料及び賃借料	会場使用料、著作権使用料	38		需用費	チラシ等印刷費	80				
					役務費	舞台人件費	148				
					使用料及び賃借料	会場使用料	154				
合計			308	合計			860				

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-012	事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	入場者数	音楽鑑賞会に来られた人数	人	116	419	490

指標で表せない成果

普段、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図れる。
 昨年試行実施した乳児とともに鑑賞するクラシック音楽会(BMM)では、「赤ちゃんが泣いても、周りや演奏者に遠慮せずに音楽を鑑賞できた」と大変好評を得た。

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性				×		

現状の課題・今後の事業展開方針等

「Baby Meets Musicあかし」は、赤ちゃんと一緒に育児中の両親が文化芸術に触れる機会を提供する事業である。
 今後も、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に、子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し、誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図りつつ、費用削減について検討していく。

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		東播磨文化団体連合会との共催事業		新規/継続	H25新規	整理番号	0130001000 - 013			
				分割/統合						
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度			
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
		2-4 文化芸術の振興			委託		指定管理			
個別計画										

事業 の 目的	対象（誰を・何を）									
	市民									
事業 内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	東播磨各地域で活動している文化芸術団体に対し、発表と交流の場を提供するとともに、地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供し、東播磨地域の文化芸術の振興を図る。									
<p>・北播磨・東播磨の8市3町(明石市・加古川市・高砂市・三木市・小野市・西脇市・加西市・加東市・稲美町・播磨町・多可町)の文化団体連合会で構成される東播磨文化団体連合会が事業主体。コーラス大会、みんよう大会、芸能祭、選抜美術展、大茶会等の開催を各市町持ち回りで開催している。平成25年度は「東はりま芸能祭」を明石市で開催予定。</p> <p>《東はりま芸能祭》(単年度 新規事業) 開催時期:平成26年2月15日(土) 会 場:明石市立市民会館 大ホール</p>										

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.20	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.10	合計	0.30
25当初予算	300	0	300	0	0	0	300				

24年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
					0		負担金補助及 び交付金
			0				
			0				
			0				
			0				
			0				
	合計		0		合計		300

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-013	事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成26年度において、本市での開催の予定なし。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名 ふれあいの祭典開催事業		新規/継続	H25新規	整理番号	0130001000 - 014					
		分割/統合								
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容							
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課						
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607						
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度				
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例						
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法		直営	○	補助・助成	○	その他	
個別計画					委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民								
	意図（どういう状態にしたいのか）	県内の文化振興と交流の輪を地域に定着・発展させるため、県内各地に市県民の多彩な文化活動の発表の場を設け、身近な場所で芸術文化に親しみ、交流の輪を広げることにより、地域文化のすそ野の拡大を図る。								
事業内容	・「ふれあいの祭典」県民文化普及事業は、県域文化団体と県、市町等が一体となって開催する。 ≪ひょうご吟剣詩舞道祭≫（単年度 新規事業） ・吟剣詩舞を愛好するものが一堂に会し、合吟コンクールや青少年の吟剣詩舞発表、企画構成吟等の披露。 開催時期：平成25年12月8日（日） 会 場：明石市立市民会館 大ホール									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
23決算	0	0	0	0	0	0	0					
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.30	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00	
24決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00	
25当初予算	540	2,750	3,290	0	0	0	3,290	任期付	0.10	合計	0.40	
24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額					
			0			負担金補助及び交付金	開催市負担金	540				
			0									
			0									
			0									
			0									
			0									
合計			0	合計			540					

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-014	事務事業名	ふれあいの祭典開催事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成26年度において、本市での開催の予定なし。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	姉妹都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 015		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度		
	事業	姉妹都市交流事業	根拠法令・要綱等		姉妹都市提携			
施策分野		4 生活・環境分野	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画		4-6 都市間交流・国際交流の推進	委託	指定管理				

事業の目的	対象（誰を・何を）												
	市民、アメリカ合衆国バレホ市民												

事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）												
	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。												

事業内容	<平成23年度>												
	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。												
	<平成24年度>												
	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。												
<平成25年度>													
・姉妹都市提携45周年を記念し、明石市代表者がバレホ市を訪問する。 人数：2人 期間：平成25年8月6日～平成25年8月10日(5日)													

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
23決算	62	510	572	0	0	0	572						
24当初予算	141	672	813	0	0	0	813	正規	0.45	アハハ	0.00		
24決算	0	672	672	0	0	0	672	再任用	0.00	その他	0.00		
25当初予算	1,616	3,735	5,351	0	0	0	5,351	任期付	0.00	合計	0.45		

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
					報償費	通訳謝礼	165
					旅費	訪米旅費	1,200
					需用費	消耗品等	100
					役務費	文書翻訳料、海外専用携帯電話通話料	151
	合計		0		合計		1,616

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-015	事務事業名	姉妹都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
バレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
姉妹都市交流事業は、これまで45年間にわたり明石市と米国バレホ市の市民による交流を主体として実施してきた実績がある。バレホ市へ市内中高生を派遣し現地でのホームステイ体験や異文化交流など、子どもたちに国際感覚を身に着ける機会を提供できるのも、明石市とバレホ市が姉妹都市提携を結んでいることの成果と言える。 平成25年度は姉妹都市提携45周年記念事業として明石市の代表団を派遣したが、周年事業でない来年度は派遣を実施しない。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石市青少年派遣事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 016		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度		
	事業	姉妹都市交流事業		根拠法令 ・要綱等	姉妹都市提携				
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法	直営		補助・助成		その他
		4-6 都市間交流・国際交流の推進			委託	○	指定管理		
個別計画									
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	明石市内在住・在学の中学・高校生 アメリカ合衆国バレホ市民								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	バレホ市へ青少年を派遣し、ホームステイなどの異文化体験を通じて国際感覚豊かな人材を育成するとともに、両市の友好親善の一層の促進を図る。								
事業 内 容	<平成23年度> ○派遣人数:11人 ○対象:市内在住、在学の中学・高校生 ○時期:7月27日～8月3日(6泊8日。うちホームステイ5泊) ○費用負担等:参加する青少年は実費を負担 ○内容:バレホでのホームステイ体験、異文化体験、現地青少年との交流事業 <平成24年度> 事業見直しのため休止 <平成25年度> 平成22年度、23年度に実施した本事業を、国際交流協会に委託する。 ○派遣人数:15人 ○対象:市内在住、在学の中学・高校生 ○時期:8月6日～8月12日(5泊7日。うちホームステイ4泊) ○費用負担等:参加する青少年は実費を負担 ○内容:バレホでのホームステイ体験、異文化体験、現地青少年との交流事業								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
23決算	1,580	0	1,580	0	0	0	1,580						
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.45	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00		
24決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00		
25当初予算	1,081	3,735	4,816	0	0	0	4,816	任期付	0.00	合計	0.45		
24年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額						
							委託料	明石市青少年親善訪米団派遣 事業委託	1,081				
	合計		0		合計		1,081						

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-016	事務事業名	明石市青少年派遣事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解を深める。 ・将来の明石市の国際交流を担うことのできる人材の育成を図る。 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×	×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>本事業は、バレホ市でのホームステイや交流活動を通じて子ども達の互いの文化を理解し尊重する心を育てるとともに国際感覚の醸成に役立てる事を目的としている。ホームステイ先はバレホ姉妹都市協会会員宅であり、これまで永く交流してきた明石市の中高生だからこそ、非常に温かく迎えてもらっており、保護者にとって安心して海外へ送り出せる事業となっている。</p> <p>平成25年度は姉妹都市提携45周年記念事業として、明石市国際交流協会に委託して青少年親善訪米団を派遣した。</p> <p>今後、事業委託のメリット・デメリットを検証し、本事業の実施方法等について検討するとともに費用削減について検討する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	友好都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 017		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費						
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	事業	友好都市交流事業	根拠法令・要綱等	友好都市提携				
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	4-6 都市間交流・国際交流の推進		委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、無錫市と必要な連絡調整を行う。
事業内容	<平成23年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成24年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成25年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	3	510	513	0	0	0	513				
24当初予算	201	588	789	0	0	0	789	正規	0.30	アハハ	0.00
24決算	8	588	596	0	0	0	596	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	201	2,490	2,691	0	0	0	2,691	任期付	0.00	合計	0.30
24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額				
	役務費	文書翻訳料	8		報償費	通訳謝礼	40				
					旅費	出張旅費	60				
					役務費	文書翻訳料	101				
合計			8	合計			201				

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-017	事務事業名	友好都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
友好都市・中国無錫市とは、これまで32年間にわたり文化・スポーツによる市民間交流をしてきた実績がある。今後さらなる市民間交流を進めるためにも、明石市と中国無錫市の友好交流が必要不可欠なものとなっている。 本事業は無錫市との連絡調整に必要とされる最小限の事務費を計上している。 今後も、無錫市との市民間交流を推進する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石市友好訪中団派遣事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 018		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	事業	友好都市交流事業		根拠法令・要綱等	友好都市提携				
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		4-6 都市間交流・国際交流の推進			委託		指定管理		
個別計画									
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 市民、中国無錫市民								
	意図（どういう状態にしたいのか） 公式団を派遣し、両市の相互理解と友好関係をさらに深める。								
事業 内容	<平成23年度> ・明石市友好訪中団（無錫市での30周年事業に参加） 人数：4人 期間：平成23年8月27日～30日（4日間） <平成24年度> ・明石市友好訪中団（無錫市国際友好都市交流会参加） 人数：2人 期間：平成24年11月5日～6日（2日間） <平成25年度> ・明石市友好訪中団 人数：2人 期間：平成25年8月29日～31日（3日間） ・明石市中学生選抜吹奏楽訪中団 人数：中学生57人、引率教師、市随行、通訳、看護師ほか 計69人 期間：平成25年8月27日～31日（5日間） 費用負担：参加する中学生および引率教師の渡航費、宿泊費は実費負担								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,143	4,675	5,818	0	0	0	5,818	正規	0.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	2,530	3,528	6,058	0	0	0	6,058	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	577	3,528	4,105	0	0	0	4,105	任期付	0.00	合計	0.50
25当初予算	2,530	4,150	6,680	0	0	0	6,680				

24年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		50		報償費
	旅費	訪中旅費	389		旅費	訪中旅費	1,000
	需用費	消耗品等	130		需用費	消耗品等	100
	役務費	海外専用携帯電話通話料	8		役務費	海外専用携帯電話通話料	30
					委託料	派遣委託料	1,250
	合計		577		合計		2,530

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-018	事務事業名	明石市友好訪中団派遣事業
------	----------------	-------	--------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
無錫市への公式団派遣により、両市幹部が直接交流することで相互理解が深まっている。						

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>これまで無錫市との交流は、明石市と無錫市の2団ずつの公式団を相互に派遣してきたが、平成25年度からは、これまでの2団の派遣団のうち1団を「青少年文化・スポーツ交流団」と位置づけ、平成25年度については明石市就学生選抜吹奏楽訪中団を派遣した。今後も日中青少年交流の推進を図るとともに費用削減について検討する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	無錫市友好交流団受入事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 019				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度			
	事業	友好都市交流事業	根拠法令・要綱等	友好都市提携					
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
	4-6 都市間交流・国際交流の推進			委託	<input type="radio"/>	指定管理			
個別計画									

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	無錫市からの友好交流団受け入れを通じて、両市の相互理解と友好交流を推進する。

事業内容	無錫市友好交流団の来明を受け入れ、交流事業を行う
	<p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 無錫市友好交流団（友好都市提携30周年記念関連。無錫市人民政府副市長ほか） 人数：5人 期間：平成23年10月31日～11月2日（3日間） <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 無錫市友好交流団（無錫市人民代表大会常務委員会副主任ほか） 人数：5人 期間：平成24年4月25日～4月26日（2日間） <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 無錫市友好交流団（未定） 人数：6人程度 期間：未定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	518	3,400	3,918	0	0	0	3,918	正規	0.50	パート	0.00
24当初予算	1,420	4,116	5,536	0	0	0	5,536	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	267	4,116	4,383	0	0	0	4,383	任期付	0.00	合計	0.50
25当初予算	1,420	4,150	5,570	0	0	0	5,570				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	50		25年度	報償費	通訳謝礼
需用費	消耗品費等	159	25年度	需用費	消耗品等	280	
使用料及び賃借料	ホテル使用料	58	25年度	委託料	受入事業委託	750	
			25年度	使用料及び賃借料	ホテル使用料	230	
			25年度				
			25年度				
			25年度				
			25年度				
	合計		267		合計		1,420

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-019	事務事業名	無錫市友好交流団受入事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
無錫市からの友好交流団受け入れにより両市の交流が進んでいるとともに、友好都市・無錫に対する市民の関心が高まっている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>これまで両市幹部が互いの市を訪問しあい交流を深めることで、明石市と無錫市の友好関係を築いてきた経緯がある。</p> <p>無錫市からの公式団については毎年2団を受け入れているが、本事業はそのうちの1団、主に無錫市幹部が来明した際の受入を行っている。</p> <p>受入に際しては、来明者の職階に応じた対応が必要であるが、費用削減について検討する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	無錫市研修生受入事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 020		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	友好都市交流事業					
事業の分割/統合の内容							
事業所管課		文化・スポーツ部文化振興課					
連絡先		(078)918-5607					
自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 56 年度			
根拠法令・要綱等		友好都市提携					
実施方法		直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
		委託	<input type="radio"/>	指定管理			
施策分野		4 生活・環境分野					
		4-6 都市間交流・国際交流の推進					
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	無錫市関係者の研修を通じて、無錫市の発展に資するとともに、市民との交流により両市の相互理解と友好関係の進展を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中国無錫市から行政関係者を中心とする研修生を受け入れ、明石市の市政等について研修を行う。 ・研修期間中、市民との交流の機会を持つ。 	
	<p><平成23年度> 人数:3人 期間:平成24年2月11日～28日(18日間) テーマ:行政システム</p> <p><平成24年度> 人数:3人 期間:平成25年1月16日～2月2日(18日間) テーマ:物価業務</p> <p><平成25年度> 人数:3人 期間:20日間 時期、テーマ未定</p>	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,092	2,125	3,217	0	0	0	3,217				
24当初予算	1,520	4,032	5,552	0	0	0	5,552	正規	0.50	アルバイト	0.00
24決算	1,055	4,032	5,087	0	0	0	5,087	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	1,520	4,150	5,670	0	0	0	5,670	任期付	0.00	合計	0.50

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	55		25	報償費	通訳謝礼
旅費	近接地旅費	5	5	需用費	消耗品等	265	
需用費	消耗品等	150	150	委託料	受入事業委託	800	
委託料	受入事業委託	581	581	使用料及び賃借料	ホテル使用料	330	
使用料及び賃借料	ホテル使用料	264	264				
合計			1,055	合計			1,520

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-020	事務事業名	無錫市研修生受入事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
明石市で研修した無錫市からの研修生が、その成果を無錫市にフィードバックしている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
無錫市からの2団の公式団のうちの1団を研修生として受け入れている。本事業は、無錫市からの強い要望で始まった事業であり、研修生は無錫市役所の幹部候補であることから、相応の対応が必要であるが、費用削減について検討していく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	国際交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 021				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計							
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	文化振興・国際交流費							
	事業	国際交流事業							
施策分野	4 生活・環境分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	4-6 都市間交流・国際交流の推進		連絡先	(078)918-5607					
個別計画			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度			
			根拠法令・要綱等	明石市国際交流協会設立					
			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民（在住外国人を含む）
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。 ・国際交流促進事業（主な内容は下記①～③）を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。 ①国際交流・協力啓蒙事業（国際交流ボランティアの募集・育成 など） ②多文化共生事業（国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など） ③国際交流活動助成事業（最大5万円を市民団体に助成） 	
	事業内容	<p><平成23年度> (3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員数538人、ボランティア登録人数延べ173人 ②国際理解講演会 西靖「世界一周旅物語」 290人参加 ゲストティーチャー派遣件数 2件5人 通訳・翻訳 延べ28件50人(英語、中国語、ハンゲル、スペイン語、ポルトガル語、モンゴル語) 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 873回 ③国際交流活動助成 4団体に計16万円を助成予定 <p><平成24年度> (3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員数598人、ボランティア登録人数延べ188人 ②国際理解講演会 バイマー・ヤンジン「トーク&コンサート チベットのこころ 日本のこころを歌う」200人参加 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1013回 ③国際交流活動助成 <p><平成25年度> (年度末見込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員数640人、ボランティア登録人数延べ200人 ②日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1020回(見込み) ③国際交流活動助成

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	9,521	680	10,201	0	0	0	10,201	正規	0.45	アハハ	0.00
24当初予算	9,917	4,620	14,537	0	0	0	14,537				
24決算	9,549	4,620	14,169	0	0	0	14,169	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	9,195	3,735	12,930	0	0	0	12,930	任期付	0.00	合計	0.45

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	10		25年度	報償費	通訳謝礼
需用費	消耗品等	113	旅費	旅費	出張旅費	114	
使用料及び賃借料	施設入館料	5	需用費	需用費	消耗品等	180	
負担金補助及び交付金	負担金	21	役務費	役務費	文書翻訳料	68	
委託料	国際交流推進事業委託	9,400	委託料	委託料	国際交流促進事業委託	8,690	
			その他	その他		103	
	合計		9,549		合計	9,195	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-021	事務事業名	国際交流推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。	人	538人	598人	640人
	国際交流協会ボランティア活動実績	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	回	873回	1013回	1020回
指標で表せない成果						
市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×	×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>国際交流推進事業は、明石市国際交流協会に市内在住外国人への日本語学習会や国際交流ボランティアの育成等を事業委託し、多文化共生社会づくりや地域の国際化を推進している。言葉や生活習慣の違いから地域になじみにくいと感じている外国人をサポートし、地域での暮らしを支えており、地域の安全・安心にもつながっている。</p> <p>同協会は設立から6年が経過し、これまで展開してきた多文化共生事業に加え、諸外国との市民間交流を推進するため国際交流事業に着手しはじめた所であり、市としては今後も同協会と協働で国際交流を推進する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	諸外国との交流事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 022		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	目	文化振興・国際交流費	連絡先	(078)918-5607			
	事業	国際交流事業	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
施策分野	4 生活・環境分野		根拠法令・要綱等				
	4-6 都市間交流・国際交流の推進						
個別計画			実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
				委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）
	市民
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）
	姉妹都市・友好都市提携先以外の諸外国との国際交流を推進し、市民の国際理解を深める。
	<平成23年度> 執行なし <平成24年度> 執行なし <平成25年度> ・諸外国からの訪問団の受入

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	85	85	0	0	0	85				
24当初予算	440	924	1,364	0	0	0	1,364	正規	0.20	アハハ	0.00
24決算	0	924	924	0	0	0	924	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	440	1,660	2,100	0	0	0	2,100	任期付	0.00	合計	0.20

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
					報償費	通訳謝礼	110
					需用費	消耗品等	110
					委託料	受入事業委託	200
					使用料及び賃借料	ホテル使用料	20
	合計		0		合計		440

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-022	事務事業名	諸外国との交流事業
------	----------------	-------	-----------

事業の 成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。						

事業の 評価・ 今後の 方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
諸外国との交流事業費については、明石市に来られる外国からの賓客を歓迎する際に必要な経費であり、賓客の対応をするのは市として大切な仕事であるため、今後も事業を継続実施する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 023				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5608			
	目	文化博物館費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 3 年度	
	事業	文化博物館運営事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則					
個別計画	文化芸術創生基本計画			実施方法	直営	○	補助・助成		その他
					委託		指定管理	○	

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立文化博物館
	意図（どういう状態にしたいのか）	明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

事業内容	事業の目的のために、展覧会、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。	
	①指定管理者による展覧会の実施	平成23年度 特別展3回、特別企画展1回、企画展4回、共催展1回 観覧者数136,037人 平成24年度 特別展3回、特別企画展1回、企画展4回、共催展3回 観覧者数92,184人 平成25年度計画 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回 観覧者数75,000人
②指定管理者による貸館事業	平成23年度 ギャラリー(20件、稼働率90.4%、利用者数18,709人)、会議室(32件、稼働率19.6%、利用者数1,536人) 平成24年度 ギャラリー(23件、稼働率89.6%、利用者数24,769人)、会議室(39件、稼働率27.1%、利用者数1,850人)	
③指定管理者による施設維持管理業務の実施	平成23年度 修繕60件 平成24年度 修繕34件	
④指定管理者による博物館資料の整備	資料購入数 平成23年度 1件 平成24年度 2件 寄贈資料の受け入れ 平成23年度 9件60点 平成24年度 10件1,716点	
⑤学校観覧数(小・中・特別支援学校)	平成23年度 74校 平成24年度 83校	
⑥ボランティア育成事業	平成23年度 登録人数82人、活動延べ人数885人 平成24年度 登録人数68人、活動延べ人数860人	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	158,634	11,730	170,364	0	0	1,563	168,801	正規	1.30	パート	0.00
24当初予算	152,350	9,750	162,100	0	0	1,340	160,760	再任用	0.30	その他	0.00
24決算	152,060	9,750	161,810	0	0	1,449	160,361	任期付	0.00	合計	1.60
25当初予算	159,510	11,810	171,320	0	0	1,245	170,075				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	指定管理者選定委員会の委員謝礼	63		25年度	需用費	年度協定書印刷製本費
旅費	指定管理者選定委員会の委員旅費	2	25年度	委託料	指定管理料	159,500	
需用費	基本協定書・年度協定書製本費他	14					
委託料	指定管理料	151,976					
使用料及び賃借料	指定管理者選定委員会の開催に伴う会場使用料	5					
合計			152,060	合計			159,510

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-023	事務事業名	文化博物館運営事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	136,037	92,184	75,000
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、質の高い展覧会を実施することで、生活や創造活動への活力を生み出している。 ・学校観覧では、実物に触れることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。 ・公募で登録された博物館ボランティアによる十二単の着付け体験や機織り体験などの活動により、来館者の満足度の向上、世代間の交流、ボランティアの自己実現など、幅広い成果を創出している。 						

	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<ul style="list-style-type: none"> ・文化博物館の設置目的である「歴史、民俗等に対する市民の理解を深める」ことを達成するためには、明石の歴史や文化、文化博物館の資料に関する知識や専門性を活かして調査研究を行い、その成果を展示や資料収集、専門事項への問い合わせ対応などで市民に還元することが必要である。これらの知識や専門性を習得し活用するためには相応の期間が必要であるが、指定管理者制度の導入以降、頻繁に学芸員が入れ替わっており、地域の博物館としての専門性が希薄になっている。 ・上記課題を解決するため、文化博物館運営方法の再検討を行う。また、これまで手薄であった「歴史、民俗等に対する市民の理解を深める」ために必要な事業に力を入れ、多様な文化芸術の鑑賞機会を提供するための特別展開催と共にバランスのとれた博物館活動を展開していく。 						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民会館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 024		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	市民会館費					
	事業	市民会館運営事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5608			
個別計画	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
			根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則			
		実施方法		直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="radio"/>	
					その他	<input type="checkbox"/>	

対象（誰を・何を）
 明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール（以下、「市民会館等」という。）

意図（どういう状態にしたいのか）
 市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。

①指定管理者による貸館事業の実施
 平成23年度 市民会館(1,882件、稼働率51.3%、利用者数245,788人)
 西部市民会館(721件、稼働率54.2%、利用者数65,558人)
 中崎公会堂(988件、稼働率59.9%、利用者数25,209人)
 市民ホール(372件、稼働率48.1%、利用者数23,425人)
 平成24年度 市民会館(1,999件、稼働率53.5%、利用者数188,493人)
 西部市民会館(697件、稼働率54.1%、利用者数63,697人)
 中崎公会堂(916件、稼働率54.8%、利用者数22,454人)
 市民ホール(432件、稼働率55.1%、利用者数22,765人)

②指定管理者による自主事業の実施
 平成23年度 27公演44ステージ開催 観覧者数 34,908人 平成24年度 36公演53ステージ開催 観覧者数 26,342人
 平成25年度計画 38公演56ステージ

③指定管理者による施設維持管理業務の実施
 平成23年度 修繕42件(市民会館 28件、西部市民会館 9件、中崎公会堂 4件、市民ホール 1件)
 平成24年度 修繕43件(市民会館 19件、西部市民会館 18件、中崎公会堂 4件、市民ホール 2件)

④その他の業務
 平成23年度 広報紙「しおさい」の発行 84,000部、友の会(389人15団体)、第九合唱団(193人)の育成等の実施
 平成24年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(247人6団体)、第九合唱団(214人)の育成等の実施

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	162,117	9,690	171,807	0	0	1,135	170,672	正規	0.90	非常勤	0.00
24当初予算	165,200	11,200	176,400	0	0	960	175,440	再任用	0.70	その他	0.00
24決算	164,700	11,200	175,900	0	0	1,044	174,856	任期付	0.00	合計	1.60
25当初予算	164,710	9,850	174,560	0	0	935	173,625				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額	
						委託料
				委託料	指定管理料	164,700
合計		164,700	合計		164,710	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-024	事務事業名	市民会館運営事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	人	359,980	297,409	330,000
	自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	34,908	26,342	30,000
指標で表せない成果						
・平成24年度、新たな取り組みとして、自主事業と関連したワークショップやアウトリーチ公演、無料のプロムナードコンサートの開催など市民に身近な事業が実施された。また、明石の将来の文化、芸術を担う市内23小学校6年生を対象に劇団四季「こころの劇場」へ無料招待し、質の高い芸術鑑賞の機会を提供できたことや、一般市民対象の第九演奏会や舞台技術講座の開催など、市民参加育成事業を実施した。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・市民会館の運営に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証していきながら、市民サービスの向上や質の高い芸術鑑賞の機会の提供に努めていく。 ・指定管理者が実施するアウトリーチ活動や市民参加・育成型事業は一定の成果を上げてきているので、そのサポートに努めていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化財保護調査・啓発事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 025			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費						
	項	社会教育費						
	目	社会教育総務費						
	事業	文化財保護調査・啓発事業						
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5629				
個別計画	あかし教育プラン		自治/法定	自治+法定	開始年度	不明		
			根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例・明石市文化財保護条例施行規則・明石市文化財審議会規則				
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市内の文化財を保護するとともに、文化財啓発事業を推進することにより、市民の文化財に対する理解を深める。

事業内容	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 1 文化財審議会の開催(年3回) 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回) 3 市指定文化財保護に対する補助 4 「発掘された明石の歴史展」の開催 5 地域文化財の普及活用事業 明石市東部のマップ作成を行った。 6 出前講座の実施
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 1 文化財審議会の開催(年2回) 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回) 3 市指定文化財保護に対する補助 4 「発掘された明石の歴史展」の開催 5 地域文化財の普及活用事業 明石市中部の文化遺産のマップ作りと東部のマップを活用した事業を行った。 6 出前講座の実施
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 1 文化財審議会の開催(年3回) 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回) 3 市指定文化財保護に対する補助 4 「発掘された明石の歴史展」の開催 5 地域文化財の普及活用事業 明石西部の文化遺産のマップ作りと中部のマップを活用した事業を行う。 6 出前講座の実施

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
23決算	6,302	10,485	16,787	0	0	0	16,787	正規	0.90	アハ'ト	0.00				
24当初予算	7,807	7,960	15,767	0	0	150	15,617								
24決算	6,974	7,960	14,934	0	0	0	14,934					再任用	1.00	その他	0.00
25当初予算	7,677	12,950	20,627	0	0	150	20,477					任期付	0.80	合計	2.70

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	文化財審議会委員報酬	90		報酬	文化財審議会委員報酬	150
旅費	職員近接地旅費	79	旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	66		
需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕	548	需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕	572		
役務費	文化博物館内作業室電話回線使用料	85	役務費	文化博物館内作業室電話回線使用料	108		
委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査補修公開」事業等	5,724	委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査補修公開」事業等	5,900		
その他	出土物保管用スチール棚購入、市指定文化財補助金等	448	その他	出土物保管用スチール棚購入、市指定文化財補助金等	881		
合計			6,974	合計			7,677

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-025	事務事業名	文化財保護調査・啓発事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。	人	2,500	2,000	2,100
	出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。	回 (人)	8 (約250人)	10 (約300人)	10 (約300人)
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>地域にある文化財を保護・啓発することは、歴史を活用した地域づくりを進め、それを担う地域住民を育てることができることから、今後もこの事業を積極的に推進することにより、より一層の地域づくり・人づくりに寄与する必要がある。発掘調査によって出土した資料や寄贈を受けた明石藩関連の資料の展示公開を図っていく中で、明石の歴史、文化を多くの人に知ってもらい、郷土への愛着を深めてもらう。また、未来を担う小・中学生にも興味をもってもらおうよう、体験学習や出前講座等の機会を増やし、次世代に伝統的な歴史、文化を継承していく。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 026						
				分割/統合									
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容								
	款	教育費											
	項	社会教育費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課							
	目	社会教育総務費			連絡先	(078)918-5629							
	事業	埋蔵文化財発掘調査事業			自治/法定	自治事務	開始年度	不明					
施策分野		2 教育・文化分野			根拠法令・要綱等			文化財保護法・明石市文化財保護条例					
		2-4 文化芸術の振興											
個別計画		あかし教育プラン			実施方法			直営	○	補助・助成	□	その他	□
								委託	○	指定管理	□	□	□

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内に所在する埋蔵文化財										
	意図（どういう状態にしたいのか）	周知の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅等を建築する際に発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存化を図る。開発事業に先立ち、遺跡の存否あるいは範囲の確認のための試掘・確認調査を行うことにより、適切な埋蔵文化財の保護措置をとり、円滑な開発事業の推進を図る。										
事業内容	平成23年度	明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。10件の発掘調査が行われている。										
	平成24年度	明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。7件の発掘調査が行われている。										
	平成25年度	明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。6件の発掘調査が見込まれている。										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	7,424	6,095	13,519	0	0	0	13,519				
24当初予算	6,576	5,380	11,956	5,100	0	0	6,856	正規	0.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	6,018	5,380	11,398	0	0	0	11,398	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	6,500	7,010	13,510	4,875	0	0	8,635	任期付	1.10	合計	1.60

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		報償費	出土資料鑑定謝礼		67		報償費
	旅費	出土資料鑑定に伴う旅費等	32		旅費	出土資料鑑定に伴う旅費等	133
	需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	107		需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	420
	委託料	発掘調査委託	5,812		委託料	発掘作業委託	5,880
	合計		6,018		合計		6,500

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-026	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
<p>開発事業に先立って確認調査を行うことにより、その調査のデータに基づき、開発業者へ設計変更等を指示するなど、埋蔵文化財の保存に向けたきめの細かい協議を行うことができています。また、個人住宅の建て替え等による調査では、上ノ丸で古代の遺構・遺物が見つかるなど、新たな歴史的事実が加わった。</p>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>埋蔵文化財の発掘調査は、文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、継続的に行っていく必要がある。得られた成果を効率的にまとめ、いかに多くの人に知ってもらい活用が図れるかが今後の課題である。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 027				
				分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容							
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課						
	項	社会教育費		連絡先	(078)918-5629						
	目	社会教育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明				
	事業	埋蔵文化財発掘調査事業		根拠法令・要綱等		文化財保護法・明石市文化財保護条例					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法		直営	○	補助・助成		その他	○
個別計画		あかし教育プラン		委託	○	指定管理					
事業の目的	対象(誰を・何を)										
	市内に所在する埋蔵文化財										
事業内容	意図(どういう状態にしたいのか)										
	周知の埋蔵文化財包蔵地内の開発に先立ち、事前に発掘調査を行うことにより、資料の適切な保存を図り、地域の歴史・文化の向上に役立てる。										
<p>平成23年度 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、7件の発掘調査を実施した。</p> <p>平成24年度 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、10件の発掘調査を実施した。</p> <p>平成25年度 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、12件の発掘調査が見込まれている。</p>											

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	4,328	6,095	10,423	0	0	0	10,423				
24当初予算	60,300	5,380	65,680	0	0	64,521	1,159	正規	0.50	アハハ	0.00
24決算	9,040	5,380	14,420	0	0	0	14,420	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	60,300	7,010	67,310	0	0	64,521	2,789	任期付	1.10	合計	1.60

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等		288		需用費
	委託料	埋蔵文化財発掘調査委託	8,752		委託料	埋蔵文化財発掘業務委託	60,000
	合計		9,040		合計		60,300

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-027	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)
-------------	----------------	--------------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
<p>・平成24年度は東野町や寺山古墳から出土した資料について記者発表を行い、速やかな広報に努めた。また、出土資料の整理を経て、コミセンなどへの出前講座や、展示会などを通して、広く地域住民にその成果を還元することができた。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。</p> <p>・開発事業に伴う発掘調査の場合、それに要する経費は開発事業者が負担することになっている。開発業者と事前に緊密な調整を行う中で、開発事業者が負担する経費や調査期間の縮減を図り、かつ、埋蔵文化財に関する記録を必要十分な形で後世に伝えていく必要がある。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 028		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	教育費					
	項	社会教育費					
	目	社会教育総務費					
	事業	埋蔵文化財出土資料整理事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5629			
個別計画	あかし教育プラン		自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
			根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例			
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物
	意図（どういう状態にしたいのか）	市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した資料の整理を行い、資料の長期保存と、調査結果を公開することにより、市民に成果を還元し、郷土の歴史・文化財への理解を深め、次世代へ継承していくよう保護意識の啓発を目的とする。
事業内容	平成23年度	1 整理作業及び年報の発行等 市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した土器、陶磁器、木器、漆器などの資料の中から重要な資料の実測、トレース、写真撮影を行い、発掘調査の成果を報告書・展示等で公開する。 2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者へ委託し、資料の適切な保存に努める。
	平成24年度	1 整理作業及び年報の発行等 市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した土器、陶磁器、木器、漆器などの資料の中から重要な資料の実測、トレース、写真撮影を行い、発掘調査の成果を報告書・展示等で公開する。 2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者へ委託し、資料の適切な保存に努める。
	平成25年度	1 市内で行われた8箇所の埋蔵文化財発掘調査現場から出土した遺物を整理し、年報を発行する。また、大久保町報恩寺跡の出土資料の市指定に向け、報告書を刊行する。 2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者へ委託し、資料の適切な保存に努める。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	2,298	12,950	15,248	0	0	0	15,248	正規	0.50	パート	0.00
24当初予算	2,380	13,760	16,140	0	0	0	16,140	再任用	0.00	その他	2.00
24決算	2,145	13,760	15,905	0	0	0	15,905	任期付	3.00	合計	5.50
25当初予算	3,880	17,350	21,230	0	0	0	21,230				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	出土資料鑑定謝礼	33		25年度	報償費	出土資料鑑定謝礼
旅費	資料調査旅費等	80	25年度	旅費	資料調査旅費等	85	
需用費	出土資料整理用消耗品 調査報告書作成費	543	25年度	需用費	出土資料整理用消耗品 調査報告書作成費	2,161	
委託料	埋蔵文化財出土資料保存処理委託	1,489	25年度	委託料	埋蔵文化財出土資料保存処理委託	1,500	
合計			2,145	合計			3,880

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-028	事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果						
指標で表せない成果						
調査成果の公開により、市民の歴史文化に対する理解を促進させることができ、文化財を通して郷土に対する愛着を深めることができる。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う文化財保護法に定められた事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。そのため、貴重な埋蔵文化財を劣化から守り、長期的に活用していくためにも、迅速かつ正確な資料整理が必要であり、その成果として埋蔵文化財発掘報告書を刊行する。また、刊行した報告書を用いて高齢者大学やコミセン、地元自治会等で説明会を開催することにより、市民に広く公開し、地域の歴史・文化の普及・啓発を図っていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 029		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	教育費					
	項	社会教育費					
	目	社会教育総務費					
	事業	埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)事業					
施策分野	2 教育・文化分野	事業所管課 文化・スポーツ部文化振興課					
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	あかし教育プラン	連絡先 (078)918-5629					
実施方法		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 21 年度	
		根拠法令・要綱等		文化財保護法・明石市文化財保護条例、兵庫県緊急雇用就業機会創出基金補助事業実施要領			
		実施方法		直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

事業の目的	対象(誰を・何を)	市内より出土した埋蔵文化財資料
	意図(どういう状態にしたいのか)	出土資料は地域の歴史を語る上で将来にわたって保存し、活用されるものであることから、広く市民が利用しやすくするため、整理・データベース化を行い、埋蔵文化財収蔵施設としての体裁を整える

事業内容	平成23年度 あかねが丘学園の空き教室3教室分の埋蔵文化財収蔵資料コンテナ数約800箱の整理・データ化
	平成24年度 あかねが丘学園の空き教室5教室分の埋蔵文化財収蔵資料コンテナ数約1500箱の整理・データ化見込み
	平成25年度 あかねが丘学園の空き教室3教室分コンテナ数約800箱の埋蔵文化財収蔵資料の整理・データ化予定

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	453	7,430	7,883	0	0	0	7,883	正規	0.30	アハハ	4.00
24当初予算	680	16,920	17,600	15,450	0	0	2,150				
24決算	415	16,920	17,335	0	0	0	17,335	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	440	9,690	10,130	9,000	0	0	1,130	任期付	0.00	合計	4.30

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	注記・接合作業用消耗品費	77		25年度	需用費	注記・接合作業用消耗品費
役務費	埋蔵文化財収蔵資料運搬業務	200	25年度	役務費	埋蔵文化財収蔵資料運搬業務	250	
備品購入費	職員用ロッカー及びプリンター等	138					
	合計		415		合計		440

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-029	事務事業名	埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	---------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	整理済みの出土資料のコンテナ	市民に還元できる整理を経てデータ化された出土資料のコンテナ数を指標とする。	箱	1200	1800	1,200
	指標で表せない成果					
市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した資料の整理を行い、調査結果を公開することにより、市民に成果を還元し、郷土の歴史・文化財への理解を深め、次世代へ継承していくよう保護意識の啓発を目的とする。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
年間の発掘調査で平均約800箱の量の出土資料があり、それらを収蔵している施設(文化博物館、あかねが丘学園等)もほぼ飽和状態にある。新たな収蔵場所の確保とともに、出土資料の効果的な活用を含め、同事業の展開を考慮していく必要がある。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	市史編さん事業	新規/継続	H25新規	整理番号	0130001000 - 030		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	教育費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	社会教育費	連絡先	(078)918-5629			
	目	社会教育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度	
	事業	市史編さん事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	2-4 文化芸術の振興			委託		指定管理	
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	一般市民・近隣自治体
	意図（どういう状態にしたいのか）	市制100周年の2019年に合わせ、明石の地形の成り立ち、人が住み始めた時代から現在に至るまでの明石の歴史を市民とともにわかりやすく書き、小学校の副読本として活用できる市史を刊行する。
事業内容	(平成25年度) 平成31年度刊行の市史編さん事業に向けて、学識経験者5名による会議を4回開催し、その仕様や市史編さんの体制、市民への普及を図るためのあり方等について検討する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
23決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.30	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
25当初予算	594	2,490	3,084	0	0	0	3,084	0	0	0.00	0.00	0.30	0.30

区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
				報償費		444
				旅費		150
	合計	0		合計		594

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-030	事務事業名	市史編さん事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>原始・古代から現代までの通史と、地域の民俗や伝承などの地域史編を図版や写真を豊富に取り入れた図説形式にしてわかりやすい形の市史を刊行する。</p> <p>26年度は、25年度検討した編集方針に基づき、調査・研究を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者等による市史編さん委員会の開催（年4回） 市史の内容構成、執筆方針、刊行計画等編さん上の基本事項を検討する。 ・専門部会（自然・考古・古代・中世・近世・近代・現代）の開催 各部門の専門家（大学教授）が市史に記述するための資料の調査・研究、資料収集を行い、執筆に備える。 ・編さん協力委員会（市民公募委員と協力専門委員からなる）の開催 市民委員による各地域の資料（絵図、古文書等）の収集と聞き取り調査 協力専門員（大学研究員）による古文書解読、聞き取り調査の指導・助言 ・資料の所在確認・調査依頼・資料借用・写真撮影等による記録化 ・成果の公開（講演会の開催、市広報・ホームページを用いて公開） <p>27年度以降は、市史編さん委員会の開催・各専門部会調査・協力委員による調査・年次調査成果の広報・原稿執筆等を行い、平成31年度に完成。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演			新規/継続	H24休廃止	整理番号	0130001000 - 031			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	総務費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	事業	文化芸術振興事業			根拠法令・要綱等					
施策分野				実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
個別計画					委託	<input type="radio"/>	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供する。

事業内容	<平成22年度>	世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演を実施。 平成23年1月15日(土)市民会館大ホール 子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 平成23年1月15日(土)谷八木小学校
	<平成24年度>	世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演を実施。 平成24年4月18日(水)市民会館大ホール 子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 平成24年4月18日(水)花園小学校

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	アハハ	その他
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0			
24決算	4,886	0	4,886	0	0	3,605	1,281	再任用	合計	合計
25当初予算								任期付		

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費		託児謝礼		7		
需用費		出演者ケータリング	37				
役務費		舞台人件費、チケット販売手数料、傷害保険料	400				
委託料		出演料、警備委託	4,331				
使用料及び賃借料		会場使用料、附属設備使用料、空調使用料	111				
	合計		4,886		合計		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-031	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演
------	----------------	-------	------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成24年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成24年度限りで休廃止						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名 明石の春を詠む吟行俳句会開催事業		新規/継続	H24休廃止	整理番号	0130001000 - 032	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計				
	款	総務費				
	項	総務管理費				
	目	文化振興・国際交流費				
	事業	文化芸術振興事業				
施策分野		事業の分割/統合の内容				
		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
個別計画		連絡先	(078)918-5607			
		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
実施方法		根拠法令・要綱等				
		直営	○	補助・助成	その他	
		委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	明石のまちを散策し俳句に親しむ機会を提供するとともに、賑わいのあるまちづくりに資する。

事業内容	<平成23年度> 春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。3月3日(土)市民会館中ホールで開催。
	<平成24年度> 春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。3月2日(土)市民会館中ホールで開催。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
23決算	569	0	569	0	0	0	569	正規	アハハ	その他		
24当初予算	450	0	450	0	0	0	450					
24決算	550	0	550	0	0	0	550				再任用	合計
25当初予算											任期付	
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細			区分(節)	内容	金額			
	報償費	司会、講師、選者等謝礼	317									
	需用費	チラシ印刷費、副賞等	95									
	役務費	賞状筆耕料	7									
	役務費	警備委託料	17									
	使用料及び賃借料	会場使用料、コピー使用料	114									
	合計		550							合計		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-032	事務事業名	明石の春を詠む吟行俳句会開催事業
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成24年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成24年度限りで休廃止						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石松竹歌舞伎開催事業			新規/継続	H24休廃止	整理番号	0130001000 - 033			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	総務費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度		
	事業	文化芸術振興事業			根拠法令・要綱等					
施策分野				実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
個別計画					委託	<input type="radio"/>	指定管理			

対象（誰を・何を）
市民

意図（どういう状態にしたいのか）
市民に優れた伝統芸能を鑑賞する機会を提供し、市民が身近に伝統文化にふれ親しむ機会の拡充を図る。

事業内容

<平成23年度>
小中学生のこどもたちの歌舞伎体験を実施。
6月19日(日)市民会館大ホールで開催。

<平成24年度>
小中学生のこどもたちの歌舞伎体験を実施。
6月23日(日)市民会館大ホールで開催。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	2,896	0	2,896	0	0	1,143	1,753	正規	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	その他	
24当初予算	3,070	0	3,070	0	0	1,800	1,270				
24決算	2,910	0	2,910	0	0	989	1,921	再任用			
25当初予算								任期付		合計	
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額				
	報償費	託児謝礼	7								
	需用費	展示花代	49								
	役務費	舞台人件費、大道具搬入出アルバイト人件費、チケット販売手数料	282								
	委託料	出演委託、警備委託、チラシ等制作委託	2,451								
	使用料及び賃借料	会場使用料	121								
	合計				2,910	合計					

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-033	事務事業名	明石松竹歌舞伎開催事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成24年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成24年度限りで休廃止						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化博物館施設整備事業	新規/継続	H24休廃止	整理番号	0130001000 - 034			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5608					
	目	文化博物館費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度			
	事業	文化博物館施設整備事業	根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則					
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
個別計画		文化芸術創生基本計画		委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立文化博物館
	意図（どういう状態にしたいのか）	破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。

事業内容	文化博物館施設・設備の整備
	<p><平成23年度></p> <p>①空調設備改修工事設計委託 平成3年の開館以来、空調設備を更新しておらず、また市有建築物の中長期保全計画においても熱源更新の時期となっているため、空調設備改修工事の設計を行った。 委託料 2,048千円</p> <p>②電話設備購入 不具合を部品交換により解消したが、機器の製造年が古く、今後部品の調達が困難であるため、館の運営・業務に支障が出ないよう電話交換機設備を更新した。 備品購入費 325千円</p> <p><平成24年度></p> <p>①空調設備改修工事 平成23年度に実施した空調設備改修工事実施設計に基づき、空調設備改修工事を行った。 工事請負費 69,184千円</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
23決算	2,373	3,740	6,113	0	0	0	6,113	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他
24当初予算	70,000	7,650	77,650	0	70,000	0	7,650			
24決算	69,184	0	69,184	0	62,300	0	6,884	再任用		
25当初予算								任期付		合計

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	工事請負費	空調設備改修工事	69,184				
	合計		69,184		合計		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-034	事務事業名	文化博物館施設整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み

指標で表せない成果

・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。
 ・平成24年度は、文化博物館空調設備改修工事を行うことにより、館空調の安定した運転及び来館者の快適な観覧環境を確保することができた。

事業の評価・今後の方向性	観点 （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成24年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成24年度限りで休廃止						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	社会体育一般事務事業 他 1 事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	教育費	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費	連絡先	(078)918-5624			
	目	保健体育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	社会体育一般事務事業	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	2-3 スポーツの振興			委託	○	指定管理	
個別計画	スポーツ振興計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	すべての市民が、健康で明るく豊かな社会生活を営むために、スポーツに親しむとともに、競技力の向上にも結びついていくよう幅広くスポーツ施策を推進する。
事業内容	1 明石市総合体育大会・スポーツ大会開催 ・明石市体育協会への委託として明石市総合体育大会と各種目大会を開催 開催種目及び参加人数 H23年度実績 23種目40,015人 H24年度 22種目42,394人 H25年度もH24年度と同程度が見込まれる。	
	2 スポーツ教室開催 ・明石市体育協会加盟団体による市民向けのスポーツ教室をコミセンなどで開催 開催種目及び教室数 H23年度実績 16種目43教室 H24年度実績 16種目43教室 H25年度 15種目42教室を開催。	
	3 スポーツ指導者養成研修会・講習会開催 ・明石市体育協会加盟団体においてそれぞれの種目の研修会を開催。 各種目別講習会・研修会及び参加人数 H23年度実績 20種目1,410人 H24年度実績 20種目1,010人 H25年度もH24年度と同程度を見込んでいる。	
	4 明石市スポーツ指導者研修会の開催 ・体育協会のスポーツ指導員をはじめ、市内の様々な分野のスポーツ指導者を対象に研修会を行なう。 平成23年度 講師：小嶋由水氏(バルセロナオリンピック女子マラソン日本代表)を招いて開催。 平成24年度 講師：大八木淳史氏(元ラグビー日本代表、現芦屋大学客員教授)を招いて開催。 平成25年度 開催予定	
	5 スポーツ賞表彰の開催 ・本市のスポーツの振興に功績のあった方や優秀な成績を収めた選手等を表彰する。 表彰人数 H23年度 191人 H24年度 199人 H25年度 開催予定	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	5,273	7,360	12,633	0	0	0	12,633	正規	1.10	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	5,562	8,400	13,962	0	0	0	13,962	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	5,371	8,400	13,771	0	0	0	13,771	任期付	0.20	合計	1.30
25当初予算	5,559	9,650	15,209	0	0	0	15,209				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	スポーツ指導者研修会講師謝礼、小学生駅伝大会審判謝礼等	155		報償費	スポーツ講演会講師謝礼、小学生駅伝大会審判謝礼等	352
旅費	職員旅費	76	旅費	職員旅費	146		
需用費	スポーツ賞表彰式に係る消耗品・印刷製本費等	1,256	需用費	スポーツ賞表彰式に係る消耗品・印刷製本費等	790		
委託料	市民スポーツ振興事業委託	3,610	委託料	市民スポーツ振興事業委託	3,690		
使用料及び賃借料	スポーツ賞表彰式・スポーツ競技大会開催等に係る会場使用料等	271	使用料及び賃借料	スポーツ賞表彰式・スポーツ競技大会等に係る会場使用料等	569		
その他	傷害保険料	3	その他	クリーニング代、負担金	12		
合計			5,371	合計			5,559

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-001	事務事業名	社会体育一般事務事業	他 1 事業
------	----------------	-------	------------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	明石市総合体育大会等の参加者数	スポーツをする人の底辺の拡大につながるによりスポーツの振興が図られる。	人	40,000	42,394	43,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×				
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>社会体育一般事務事業の業務として、明石市総合体育大会の開催やスポーツ賞表彰などを実施している。特にこれらの事業は、選手にとって目標であり励みとなっており、競技スポーツの推進を図るため今後も継続して実施しなければならない。</p> <p>「明石市スポーツ振興計画」に基づき、施策の展開を図っているところであるが、スポーツ賞表彰式に併せて実施している「スポーツ指導者研修会（講演会）」などの開催について検討するほか、市が事業を実施する意義や、各事業の趣旨などを改めて精査し、スポーツ振興関連事業全体として歳出予算の削減に取り組む。</p>					

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 002			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費			連絡先	(078)918-5624		
	目	保健体育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	不明
	事業	生涯スポーツ推進事業						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
	2-3 スポーツの振興			実施方法	直営	○	補助・助成	○
個別計画	スポーツ振興計画		委託		○	指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	自らの健康・体力の維持増進を図れるよう、スポーツをする機会等を提供し、生涯スポーツの推進を図る。特に子ども向けの体力向上・競技力向上のイベントを開催する。
事業内容	1 市民ショートテニス大会開催(年1回)	・スポーツ推進委員と連携し、ショートテニス大会を開催する。同大会を通して他の地域で活動している方との交流を図るとともに、スポーツをするきっかけづくりを目的とする。 H23年度、H24年度開催、H25年度開催予定
	2 ウォーキング 毎月1回実施(年12回)	・ウォーキング協会への委託事業として実施する。市民が手軽に参加できるウォーキングイベントとして定着している。 H23年度、H24年度実施、H25年度実施中
	3 ジュニア自転車競技教室の開催(年6回)	・NPO法人への委託事業として実施する。学童期から自転車競技への興味をもってもらうことと、正しい自転車の乗り方や態度を学ぶ。 H23年度、H24年度開催、H25年度開催中
	4 サイクルスポーツフェスティバル開催(年1回)	・NPO法人への委託事業として実施する。自転車が楽しく、エコな乗り物であることを広く市民に知ってもらう。 H23年度、H24年度開催、H25年度開催予定
	5 大蔵海岸での関西大学ビーチバレー男女選手権大会開催を支援。	・全国的規模の大会を本市で開催し、スポーツへの関心を高める。 H23年度、H24年度とも2日間の開催、H25年度も2日間開催した。
	6 全国大会等に出場する選手等への激励金の支出。	・全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会に出場する選手に対し、本市からの激励金を支給する。 H24年度支給者数 1,592人(H24年度から実施) 平成25年度には支給要綱の見直しを行った。
	7 明石市スポーツフェスティバルの開催(年1回)	・子どもが、体を動かすことの楽しさや喜びを知ってもらうために豊富な競技経験や指導経験を持つアスリートとの交流を通じて、様々なスポーツを楽しんでもらうイベントを開催する。 H24年度 参加者150名 H25年度 開催予定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	10,417	7,360	17,777	0	0	0	17,777	正規	1.10	パート	0.00
24当初予算	10,548	10,140	20,688	0	0	0	20,688	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	8,138	10,140	18,278	0	0	0	18,278	任期付	0.50	合計	1.60
25当初予算	11,880	10,430	22,310	0	0	40	22,270				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	全国大会等出場者への激励金等	5,356		報償費	全国大会出場選手への激励金等	6,740
需用費	スポーツ大会開催に係る消耗品等	544	需用費	スポーツ大会開催に係る消耗品	137		
役務費	傷害保険料	27	役務費	安全保険料	100		
委託料	ウォーキング推進事業委託 サイクルスポーツ推進事業委託	800	委託料	明石市スポーツフェスティバル事業委託等	3,700		
使用料及び賃借料	スポーツ大会開催に係る会場使用料等	1,173	使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料等	933		
その他	備品購入費、全国的スポーツ大会運営補助金	238	その他	備品購入費、全国的スポーツ大会運営補助金	270		
合計			8,138	合計			11,880

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-002	事務事業名	生涯スポーツ推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
大会や教室に市民が参加することで、健康体力の維持増進が図られている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>生涯スポーツ推進事業は、子どもから高齢者まで全ての市民を対象とし、健康・体力の維持増進が図られるようスポーツをする機会を提供することによりスポーツの振興を図ることを目的としている。子どもの体力が低下傾向にある現状において、スポーツや運動をする楽しさを体験できるイベントを開催することにより、スポーツや運動を継続して行う習慣づくりのきっかけを提供しなければならない。このため、スポーツフェスティバルについては内容を充実させ、多くの市民が様々な種目のスポーツを体験することができるよう事業を拡充する必要がある。</p> <p>「明石市スポーツ振興計画」に基づき、施策の展開を図っているところであるが、市が事業を実施する意義や、各事業の趣旨などを改めて精査し、スポーツ振興関連事業全体として歳出予算の削減に努める。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 003			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費			連絡先	(078)918-5624		
	目	保健体育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 37 年度
	事業	スポーツ推進委員活動事業			根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画		
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営		○	補助・助成	その他
	2-3 スポーツの振興			委託		指定管理		
個別計画	スポーツ振興計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	スポーツ基本法第32条に基づき設置されたスポーツ推進委員
	意図（どういう状態にしたいのか）	本市におけるスポーツ活動の推進を目的として、スポーツ推進委員が市民に対し、スポーツの実技指導をはじめ、その他のスポーツに関する指導及び助言、さらには地域と行政とのコーディネーターとしての活動ができるように支援するとともに、資質の向上に努めてもらうことにより地域でのスポーツ活動の推進を図る。
事業内容	1 スポーツ推進委員	委嘱人数 H23 31名、H24 31名、H25 31名 報酬月額 6,400円 ・年4回明石市スポーツ推進委員全体会を開催 ・本市が行うスポーツイベントの支援を行っている。 ・より専門的・効果的な活動を行うため、スポーツ推進委員会の中に4つの専門部会を設置している。 ・現在、ショートテニスの普及に力を注いでおり、H25年度も各担当地域(小学校区)において教室等を開催する。 ・スポーツ推進委員が自らの担当地域において行われるスポーツイベントへの支援
	2 スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会等に参加	・東・北播磨地区スポーツ推進委員研修会 ・兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会 ・生涯スポーツ指導者地区別研修会(東・北播磨地区) 等 H24年度は、自主事業として、ショートテニスやスポーツ吹矢、心肺蘇生法の研修会を開催した。 H25年度も上記の研修会等に参加するとともに自主的な研修を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	3,145	7,360	10,505	0	0	0	10,505	正規	1.10	アハハ	0.00
24当初予算	3,442	6,780	10,222	0	0	0	10,222				
24決算	3,064	6,780	9,844	0	0	0	9,844	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	2,892	9,910	12,802	0	0	0	12,802	任期付	0.30	合計	1.40

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	スポーツ推進委員報酬	2,381		報酬	スポーツ推進委員報酬	2,381
報償費	スポーツ推進委員地区活動謝礼	170	旅費	スポーツ推進委員旅費	195		
旅費	スポーツ推進委員旅費	192	需用費	広報紙印刷製本費等	135		
需用費	広報紙印刷製本費 等	177	役務費	スポーツ安全保険料	58		
負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金 等	80	使用料及び賃借料	全体会会場使用料	14		
その他	傷害保険料、全体会会場使用料	64	負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金等	109		
合計			3,064	合計			2,892

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-003	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
スポーツ推進委員が、各地域(小学校区)で取り組んでいるニュースポーツ教室などを通して指導助言を行うことで地域スポーツの推進が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
国における「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」や本市における「明石市スポーツ振興計画」において、スポーツ推進委員は重要な位置づけであることから、今後もその活動を支援していくこととする。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	広域連携スポーツ振興事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 004				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課					
	項	保健体育費	連絡先	(078)918-5624					
	目	保健体育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 16 年度			
	事業	広域連携スポーツ振興事業	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画					
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	2-3 スポーツの振興			委託	○	指定管理			
個別計画	スポーツ振興計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	野球・サッカー等のイベントを通じて、市民、特に子どもたちにスポーツのすばらしさを実感してもらうことにより、スポーツをする人の底辺の拡大を図るとともに健全育成を推進する。
事業内容	① サッカーを通じた青少年の健全育成を図ることを目的にヴィッセル神戸と連携し、以下の事業を実施する。 I 小学校訪問(1校) H23年度実績 1校 H24年度実績 1校 H25年度 実施予定 II 少年サッカークリニック(1日) H23年度実績 1日 H24年度実績 1日 H25年度 実施予定 III 小学校巡回指導(3校) H23年度実績 3校 H24年度実績 3校 H25年度実績 3校 IV 親子サッカー教室(1回) H23年度実績 1回 H24年度実績 1回 H25年度 実施予定	
	② 野球を通じた青少年の健全育成を図ることを目的に明石軟式少年野球協会への委託事業による、プロ野球OBの指導を受けることができる「集まれ！野球っ子」を開催する。 H23年度実績 190名参加 H24年度実績 220名参加 H25年度もH24年度程度の参加者を見込む	
	③ 子どもたちに野球ができる環境を充実させるため、企業グラウンド(JT)の貸し出しを行う。 毎週土曜日・日曜日と祝日を貸し出している。 H22年度から実施しており、H25年度も同様の内容で貸し出しを行う。	
	④ 生涯スポーツ社会の実現を目指して様々なスポーツ振興施策を実施していくために明石市スポーツ振興基金を積み立てる。 H24年度積立額 1,000万円 H25年度積立額 1,010万円	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				平成25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	2,501	5,360	7,861	0	0	0	7,861				
24当初予算	12,490	5,880	18,370	0	0	0	18,370	正規	0.70	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	12,400	5,880	18,280	0	0	0	18,280	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	12,275	5,810	18,085	0	0	100	17,985	任期付	0.00	合計	0.70

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	消耗品費	0		25	需用費	消耗品費
役務費	物損保険料	23	23	役務費	物損保険料	90	
委託料	ヴィッセル神戸への事業委託、少年野球教室開催運営委託	2,340	2,340	委託料	ヴィッセル神戸への事業委託、野球教室運営委託	2,040	
使用料及び賃借料	施設使用料	4	4	使用料及び賃借料	施設使用料	15	
積立金	明石市スポーツ振興基金	10,033	10,033	積立金	明石市スポーツ振興基金	10,100	
合計			12,400	合計			12,275

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-004	事務事業名	広域連携スポーツ振興事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
<p>親子で参加できるスポーツイベントやプロの選手と触れ合えるイベントを実施することは、市民の方々に生涯にわたりスポーツに親しむ動機づけとなり、市民スポーツの振興や、まちの賑わいづくりに効果があると考えられる。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>「明石市スポーツ振興計画」に基づき、施策の展開を図っているところであるが、市が事業を実施する意義や、各事業の趣旨などを改めて精査し、スポーツ振興関連事業全体として歳出予算の削減を検討する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石市T&Fまつり開催事業 <div style="text-align: right;">他 1 事業</div>	新規/継続	H24休廃止	整理番号	0130001500 - 005				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5624					
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度			
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画					
施策分野	2 教育・文化分野 2-3 スポーツの振興		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画	スポーツ振興計画			委託	○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	4歳児から中学3年生までの幼児、児童の保護者と生徒
	意図（どういう状態にしたいのか）	トップアスリートによる陸上競技教室を開催することにより、本市の子どもの体力向上の一助とするとともに、生涯をとおしてスポーツを続けようとするきっかけづくりとする。 また、運動をとおして幼児・児童自らが体を動かす楽しさや心地よさを実感してもらうとともに、保護者とのふれあいの時間を提供する。

事業内容	1 日時	平成24年12月1日(土) 午前9時00分
	2 会場	明石公園陸上競技場
	3 講師	朝原宣治氏・荒川大輔氏・山本慎吾氏
	4 協力	明石市陸上競技協会・明石市スポーツ推進委員会
	5 内容	以下の2つのイベントを同時開催した。 ①あかし陸上競技クリニック 小学4年生から中学3年生までを対象とした。 講師たちが所属する「NOBY T&F CLUB」で行われている指導プログラムを基本として、アップ、各種ドリルを実施。 クリニック終了後、100m・200m・走り幅跳びの記録会を実施。 140名が参加。 ②ファミリーチャレンジ 4歳児から小学3年生とその保護者を対象とした。 4歳児から未就学児については「幼児の運動能力調査」に掲げられた項目を測定。 小学1年生から3年生については「新体力テスト」に掲げられた項目を測定。 上記それぞれ保護者については、子どもたちに付き添ってもらい親子で体力の向上を楽しんだ。 156名の子どもが参加した。

事業内容	1 日時	平成24年12月1日(土) 午前9時00分
	2 会場	明石公園陸上競技場
	3 講師	朝原宣治氏・荒川大輔氏・山本慎吾氏
	4 協力	明石市陸上競技協会・明石市スポーツ推進委員会
	5 内容	以下の2つのイベントを同時開催した。 ①あかし陸上競技クリニック 小学4年生から中学3年生までを対象とした。 講師たちが所属する「NOBY T&F CLUB」で行われている指導プログラムを基本として、アップ、各種ドリルを実施。 クリニック終了後、100m・200m・走り幅跳びの記録会を実施。 140名が参加。 ②ファミリーチャレンジ 4歳児から小学3年生とその保護者を対象とした。 4歳児から未就学児については「幼児の運動能力調査」に掲げられた項目を測定。 小学1年生から3年生については「新体力テスト」に掲げられた項目を測定。 上記それぞれ保護者については、子どもたちに付き添ってもらい親子で体力の向上を楽しんだ。 156名の子どもが参加した。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
23決算	0	0	0	0	0	0	0			
24当初予算	0	0	0	0	0	0	0	正規		ｱﾙﾊﾞｲﾄ
24決算	1,220	0	1,220	0	0	0	1,220	再任用		その他
25当初予算								任期付		合計

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	開催に係る消耗品	24				
委託料	講師派遣業務委託・リーフレット作成委託・運営補助業務委託	1,156					
使用料及び賃借料	会場使用料	40					
	合計		1,220		合計		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-005	事務事業名	明石市T&Fまつり開催事業	他 1 事業
------	----------------	-------	---------------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
オリンピックメダリストからの直接の指導や助言は、子どもたちにとってはまたとない機会である。 親子で安全に運動に親しめる機会を提供できた。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成24年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成24年度限りで休廃止						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	コミセン管理運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	コミュニティ費					
	事業	コミセン管理運営事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進			連絡先	(078)918-5600		
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定		自治事務		開始年度
				根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則		
実施方法	直営		○		補助・助成		その他
	委託		○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）						
	地域住民、コミセン利用者 14コミセン(16施設)						
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）						
	生涯学習活動に重点を置いた拠点施設として管理運営を行う。						

事業内容	<平成24年度>						
	① 施設の維持管理運営 ② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供する等の学習支援を行った ③ 生涯学習、地域活動等の場の提供 ④ 生涯学習機会の提供 ・高齢者大学、市民講座等の実施(生涯学習推進事業の委託料による) ※ (コミセン利用件数(延べ)) 平成24年度 26,872 件 (コミセン利用人数(延べ)) 平成24年度 442,571 人						
事業内容	<平成25年度>						
	① 施設の維持管理運営 ② 学習活動の支援 ③ 生涯学習、地域活動等の場の提供 ④ 生涯学習機会の提供 ・高齢者大学、市民講座等の実施(生涯学習推進事業の委託料による) ※ (コミセン利用件数(延べ)) 平成25年度見込み 28,000件 (コミセン利用人数(延べ)) 平成25年度見込み 470,000人						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
23決算	0	0	0	0	0	0	0						
24当初予算	27,774	81,340	109,114	0	0	3,890	105,224	正規	1.10	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00		
24決算	25,173	81,340	106,513	0	0	4,278	102,235	再任用	6.00	その他	56.00		
25当初予算	30,623	81,230	111,853	0	0	4,080	107,773	任期付	0.50	合計	63.60		

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	コミセン所長・職員近接地旅費	244			旅費	コミセン所長・職員近接地旅費
需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	13,606		需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	16,417	
役務費	コミセン電話料金等	1,051		役務費	コミセン電話料金等	1,236	
委託料	コミセン運営業務委託(14コミセン)等	7,141		委託料	コミセン運営業務委託(14コミセン)等	7,769	
使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	3,063		使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	4,737	
その他	共益費、講習負担金	68		負担金補助及び交付金	共益費、講習負担金	86	
合計			25,173	合計			30,623

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-001	事務事業名	コミセン管理運営事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	コミセン利用件数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した件数を成果指標とする。	件	29,484	26,872	28,000
	コミセン利用人数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した人数を成果指標とする。	人	493,364	442,571	470,000
指標で表せない成果						
身近な場所に気軽に集まることのできる拠点があることにより、生涯学習活動を身近に取り入れる環境が構築されている。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性					×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区コミセンは、①学習機会の提供、②学習活動の場、③地域活動の拠点としての役割が地域住民に定着し機能しているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。 ・今後、公平性の観点から受益者負担の原則に立ち返り、登録団体から使用料を徴収し、その使用料収入を施設・設備の維持管理経費に充当するなどの見直しを検討する。あわせて、コミセン登録要項の見直しを検討する。 						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		コミセン施設整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 002			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5600					
	目	コミュニティ費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度			
	事業	コミセン施設整備事業	根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則					
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画	生涯学習ビジョン			委託	○	指定管理			
事業の目的	対象（誰を・何を） 14中学校区コミセン（16施設）								
	意図（どういう状態にしたいのか） 生涯学習活動の拠点施設として十分機能するよう、老朽化対応や耐震化など安全面や機能向上を目指し、施設・設備を整備する。								
事業内容	<平成24年度> ・二見コミセントイレ改修工事、高丘中央集会所高圧受変電装置新設、空調機更新等 <平成25年度> ・利用者の安全確保、老朽化対応のため施設・設備の補修、更新を行う。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
23決算	0	0	0	0	0	0	0				
24当初予算	46,514	36,380	82,894	0	34,500	0	48,394	正規	0.80	パート	0.00
24決算	38,815	36,380	75,195	0	28,700	0	46,495	再任用	6.20	その他	10.00
25当初予算	2,962	36,980	39,942	0	0	0	39,942	任期付	0.10	合計	17.10
24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額				
	需用費	修繕料、消耗品費等	3,626		需用費	消耗品費	50				
	役務費	コミセン事務室移設に伴う引越し費用など	702		役務費	コミセン事務室移設に伴う引越し費用など	412				
	工事請負費	二見コミセン便所改修、高丘コミセン受変電設備新設工事	31,907		備品購入費	空調機更新等	2,500				
	備品購入費	空調機更新等	2,580								
	合計		38,815		合計		2,962				

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-002	事務事業名	コミセン施設整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	耐震診断、耐震改修した建物数の割合	昭和56年以前に建築されたコミセンで耐震診断、耐震改修したコミセン施設数を安全面の向上を図った成果指標とする。	完了施設数/対象施設数	3/5	3/5	3/5
	指標で表せない成果					
コミセン利用者に最も求められているものは、安全で快適に施設を利用できることであり、安全面の向上と機能充実を図ることで、利用者の満足度は向上している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	・中学校区コミセンは、①学習機会の提供、②学習活動の場、③地域活動の拠点としての役割が地域住民に定着し機能しているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。 ・今後、利用者の安全性の確保や利用者サービスの維持を図るため適宜、施設・設備の修繕、更新を行うとともに、耐震化未実施施設について耐震化を検討する。					

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	款	総務費			連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費				自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度
	目	生涯学習センター費					根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則	
	事業	生涯学習センター運営事業						実施方法	直営
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>			
個別計画	生涯学習ビジョン								

対象（誰を・何を）
生涯学習センター（男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム・子ども図書館除く）

意図（どういう状態にしたいのか）
多くの市民が生涯学習に取り組み、市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、使いやすい貸し館運営を行い、提供するサービスを充実させる。

事業内容

<平成23年度>
① 学習センター貸し館運営
・学習室1(120人)、2(81人)、3(45人)、4(12人)、パソコン室(25人)、調理実習室(25人)、工芸室(25人)、茶室和室(29人)、ホール(293人)、リハーサルスタジオ(20人)、音楽練習室1,2(12人)の貸し館を行った。
・件数 7,326件、平均利用率 73.3%、利用者数 109,996人
・定期的利用者向け貸しロッカーを設置し、利用者サービスの向上を図った。

② 学習情報の提供
・学習情報誌「わらしのわ」を発行した(年4回、3500部)。
・生涯学習センターホームページにて貸し館の状況や企画事業の情報提供を行った。
・学習情報コーナーにて、書籍・DVD・インターネットの閲覧サービスを行った。

<平成24年度> ※下記変更以外は平成23年度とほぼ同じ
① 学習センター貸し館運営
・利用件数 7,471件、平均利用率 72.8%、利用者数 107,984人
② センターHPリニューアル
・市民が学習活動を行う場や学習機会の情報をより効果的に提供するため、センターHPのリニューアルを行った。

<平成25年度>
① 学習センター貸し館運営
・パソコン室等について、利用促進を図るため用途変更等の検討を進める。
② 学習情報の提供

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	14,120	25,770	39,890	0	0	16,468	23,422	正規	1.40	パート	0.00
24当初予算	16,710	24,390	41,100	0	0	13,230	27,870	再任用	0.30	その他	0.00
24決算	14,204	24,390	38,594	0	0	14,204	24,390	任期付	3.40	合計	5.10
25当初予算	11,732	21,480	33,212	0	0	11,532	21,680				

区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費(事務用品等)・舞台用電球・学習情報誌・パンフレット等	2,443		需用費	消耗品費(事務用品等)・舞台用電球・学習情報誌・パンフレット等	2,988
役務費	ピアノ調律代・学習室5インターネット回線費	221		役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代・学習室5インターネット回線費	716
委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守	9,137		委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守	6,380
使用料及び賃借料	パソコン室機器賃貸借・公用車駐車場借り上げ料・コピー使用料	1,873		使用料及び賃借料	公用車駐車場借り上げ料、コピー使用料	1,076
その他	旅費・備品購入費	530		その他	旅費、備品購入費等	572
合計		14,204		合計		11,732

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-003	事務事業名	生涯学習センター運営事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	52.7	53.9	54
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	109,996	107,984	108,000
指標で表せない成果						
センターの利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
貸し館事業の稼働率向上のため、パソコン室の一般室化等を検討する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	分室運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 004			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600		
	目	生涯学習センター費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 14 年度
	事業	生涯学習センター運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
個別計画	生涯学習ビジョン			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
					委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センター分室
	意図（どういう状態にしたいのか）	分室において多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。

事業内容	<平成23年度>
	① 貸し館運営 ・大会議室(250人)、和室(50人)、実習室(30人)、研修室(35人)、視聴覚室(35人)、小会議室(20人)の貸し館運営を行った。 ② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供するなどの学習支援を行った。 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,525件、延人数53,850人 ③ 修繕 ・視聴覚室床材張り替え、和室障子張り替え ほか
事業内容	<平成24年度>
	① 貸し館運営 ② 学習活動の支援 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,587件、延人数59,698人 ③ 修繕 ・実習室B及び和室の流し台漏水修繕・排水不良修理 ・遮音壁修繕 ほか
事業内容	<平成25年度>
	① 貸し館運営 ② 学習活動の支援

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,034	8,137	9,171	0	0	1,364	7,807	正規	0.40	パート	0.00
24当初予算	1,172	7,495	8,667	0	0	1,172	7,495	再任用	0.10	その他	5.00
24決算	991	7,495	8,486	0	0	1,026	7,460	任期付	0.00	合計	5.50
25当初予算	1,305	7,845	9,150	0	0	1,263	7,887				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品(事務用品等)・遮音壁修繕・和室等流し台排水不良修理	704		需用費	消耗品(事務用品等)・実習室ABタイル張替修理一式	802
役務費	電信電話料・ピアノ調律代	150	役務費	電信電話料・ピアノ調律代	224		
使用料及び賃借料	コピー使用料等	121	使用料及び賃借料	コピー使用料	141		
備品購入費	インクジェットプリンター	16	備品購入費	会議室机	138		
合計			991	合計			1,305

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-004	事務事業名	分室運営事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	60.4	60.7	61
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	53,850	59,698	60,000
指標で表せない成果						
分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
				×		
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・分室の管理運営について、利用者等の意見を十分反映しながら生涯学習支援の充実に努める。 ・市立図書館移転に伴う、跡地利用の協議の中で、分室を拠点とするシニアカレッジ、登録団体の活動場所等について検討する。 						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	生涯学習センター費					
	事業	生涯学習センター運営事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600			
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
			根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

対象（誰を・何を）
生涯学習センターが保有する視聴覚教材、機材

意図（どういう状態にしたいのか）
市民の多様な学習需要に応えるため、視聴覚教材を充実させ、機材を整備し、利用しやすい環境をつくる。

事業内容

<平成23年度>
① 教材、機材の貸し出し
・幼稚園や子ども会、自治会などに16ミリフィルムやビデオ教材、及びプロジェクターやスクリーンなど機材の貸し出しを行った。
年間貸し出し件数 教材91件(学校:46件、その他:45件)、機材45件(学校:19件、その他:26件)
・教材の新規購入 (ビデオ 2本・DVD 9本を購入)

<平成24年度>
① 教材、機材の貸し出し
・教材57件(学校:24件、その他33件)、機材20件(学校:11件、その他:9件)
・教材の新規購入(DVD 11本を購入)

<平成25年度>
① 教材、機材の貸し出し及び教材の新規購入

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	522	1,259	1,781	0	0	0	1,781	正規	0.10	パート	0.00
24当初予算	822	980	1,802	0	0	0	1,802	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	450	980	1,430	0	0	0	1,430	任期付	0.20	合計	0.30
25当初予算	822	1,350	2,172	0	0	0	2,172				

区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	役務費	0		役務費	教材搬送用袋クリーニング	8
合計		450		合計		822

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-005	事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数	件	91	57	60
	指標で表せない成果					

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性	×		×		×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
・教材等の貸出は、市内の学校等(小中学校・幼稚園・保育所・青少年教育課)がその大半を占めており、購入教材の選定は教育研究所に依頼している状況にある。今後の方向性としては、新規購入経費の縮小若しくは、事業の教育委員会への移管など、事業の在り方を検討する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		生涯学習センター維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 006			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター					
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5600					
	目	生涯学習センター費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度			
	事業	生涯学習センター維持管理事業		根拠法令・要綱等	生涯学習センター条例、同施行規則					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		2-5 生涯学習の推進			委託	○	指定管理			
個別計画		生涯学習ビジョン								

対象（誰を・何を）
 生涯学習センターの施設・設備（アスパア明石北館の7階～10階部分、6209㎡。男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム：子ども図書館含む）

意図（どういう状態にしたいのか）
 市民がセンターを安全・快適に利用できるよう、また、職員が効率的に執務できるよう、センターの施設・設備の状態を良好に保つ。

事業内容

<平成23年度>
 ① 保守・点検
 ・中央監視盤、AVシステム、空調装置について、年1回の保守点検を実施した。
 ・給水式冷温機（冷房）について、年2回の保守点検を実施した。
 ・電話交換機、エアコン空調機について、月1回の保守点検を実施した。
 ② 修理・修繕
 ・集合案内盤修繕、舞台照明設備電源交換、空調インバーター圧縮機交換等作業、誘導灯更新工事、北館屋上設備機器箱体補修工事など25件
 ③ インフラ設備維持
 ・電気・ガス・水道・館内イントラ回線・電話回線の供給を行った。
 ・建物（アスパア）共用部分等の維持管理費を負担した。
 ④ 清掃・・・年1回の定期清掃と開館日の日常清掃を行った。
 ⑤ 警備・・・開館日の夜間（16:30～22:30）の見回り警備と利用者案内を行った。
 深夜（22:00～8:00）及び休館日の機械警備を行った。

<平成24年度> ※下記変更以外は平成23年度とほぼ同じ。
 ① 修理・修繕
 ・外壁看板修理、監視カメラ修繕、空調機フィルター交換、空調圧縮機交換、電気温水器修繕、ホール防音ドア修繕など16件

<平成25年度> ※下記変更以外は例年とほぼ同じ。
 ① 修理・修繕
 ・室内空調機取替え、誘導灯更新（3期）

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	78,691	11,050	89,741	0	0	8,191	81,550	正規	1.00	パート	0.00
24当初予算	84,560	9,400	93,960	0	0	10,756	83,204	再任用	0.40	その他	0.00
24決算	78,146	9,400	87,546	0	0	11,782	75,764	任期付	0.00	合計	1.40
25当初予算	86,658	9,660	96,318	0	0	12,862	83,456				

区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
役務費	冷却塔水質検査費	71	役務費	冷却塔水質検査費	142	
委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	18,677	委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	18,804	
使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,584	使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,599	
備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新	28	備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新	200	
負担金補助及び交付金	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	54,130	負担金補助及び交付金	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	59,470	
合計		78,146		合計	86,658	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-006	事務事業名	生涯学習センター維持管理事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。	件	25	16	25
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数	件	0	0	0
指標で表せない成果						
維持管理業務の一部を委託化することにより、業務の効率化(コストや職員の負担軽減)が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成13年の竣工以来10年以上が経過しているため、経年劣化により、施設・設備の各所に不備が生じている。このため、発生する諸問題に対処しながら、利用環境の水準を低下させることなく、「市民(利用者)がセンターを安全・快適に利用できる」よう施設・設備を維持していく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 007	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計				
	款	総務費				
	項	総務管理費				
	目	生涯学習センター費				
	事業	生涯学習推進事業				
施策分野	2 教育・文化分野	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600		
個別計画	生涯学習ビジョン	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
					その他	<input type="checkbox"/>

事業の目的	対象（誰を・何を）
	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）
	市民がいつでも、どこでも、多種多様な生涯学習に取り組むことができるようにし、さらに一人ひとりの市民が学んだことを地域に還元する。

事業内容	<p><平成23年度></p> <p>①講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) 総受講者数約8,300名 あかし楽講座(歴史講座等)、ゆうゆう塾(市民企画講座)、パソコン講座(民間企業に委託)、市民セミナー(現代的課題を取り上げた講演会)、スキルアップ社会人交流セミナー、ジュニアアカデミー、クッキングアカデミー、パフォーマンスアカデミー、レコーディング講座、シニアカレッジ、コミセン高齢者大学などを実施。 ・スキルアップ社会人交流セミナーを拡充…他市町村との交流事業等で内容を充実 ②生涯学習相談…窓口、電話で市民に生涯学習情報を提供。年間相談件数80件程度。 ③生涯学習指導者の育成 ・生涯学習指導者会の研修(年1回)を実施。</p> <p><平成24年度>※下記変更以外は、平成23年度とほぼ同じ ①講座・イベント等の実施 総受講者数約6,400名 ・事業の見直しによる部分的な縮小…パソコン講座、市民セミナー、レコーディング講座を休止。 ②生涯学習指導者の育成 ・生涯学習指導者会の研修を(年2回)、作品展を実施。 ③コミセンサークル活動への支援 ・明石コミセンサークル連絡協議会の活動支援</p> <p><平成25年度予定>※下記変更以外は、平成24年度とほぼ同じ ①講座・イベント等の実施 ・事業の見直しによる部分的な縮小…パフォーマンスアカデミーを休止、ジュニアアカデミーをあかし楽講座に統合。 ・事業内容の見直し、刷新 市民カレッジゆうゆう塾をあかし市民企画 みんなの講座に刷新。講座終了後の講師活動を支援するため「カタログ」を作成・配布。 スキルアップ社会人交流セミナーをあかし「ジモとも」セミナーに刷新。OB会を発足し、セミナーでの繋がりを継続、地域活動に広げる。 あかし楽講座に子ども対象のこどもあかし楽講座を追加。次世代を担う子どもが明石の歴史、自然、文化等を知る機会を提供する。 クッキングアカデミーの内容見直し。明石産の食材(魚、野菜、果物)にこだわった料理教室を実施。</p>
-------------	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	19,597	40,829	60,426	531	0	1,336	58,559				
24当初予算	15,471	43,620	59,091	705	0	677	57,709	正規	4.20	アルバイト	0.00
24決算	14,082	43,620	57,702	0	0	695	57,007	再任用	4.00	その他	0.00
25当初予算	12,540	50,540	63,080	0	0	590	62,490	任期付	0.80	合計	9.00

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	講師等謝礼	3,346	報償費	講師等謝礼	2,797
需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	519	需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	417
役務費	保険料	266	役務費	保険料	18
委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,298	委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,298
使用料及び賃借料	会場使用料、舞台人件費、音楽著作権演奏使用料	550	負担金補助及び交付金	研修参加負担金	10
その他	シニアカレッジ用備品(ノートPC)研修参加負担金	103			
合計		14,082	合計		12,540

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-007	事務事業名	生涯学習推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	講座受講者数等	講座の受講者数、講演会の参加者数等を集計	人	8,300	6,400	4,600
	指標で表せない成果					
市民企画型講座では、市民が自分の特技・技能・知識を活かして何かをはじめるきっかけになるとともに、生涯学習を始める機会を提供している。また、シニアカレッジで学んだ市民が、コミセンで「出前講座」を行うなど、個々の学びを広げる活動を行っている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
					×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・公平性の観点から受益者負担の原則に立ち返り、受益者負担（受講料の徴収）を検討する。 ・3つの高齢者学習機関（コミセン高齢者大学、明石シニアカレッジ、あかねが丘学園）について、利用者のニーズや施設の老朽化等の状況を踏まえ、あり方を検討する。 ・「市民一人ひとりの学びが、それぞれの人生を充実させ、さらには、学びにより力をつけた市民がボランティアやまちづくり等、地域で様々な活動を行い、明石のまちを元気にする。」という生涯学習推進のねらいを実現するために、「地元愛」を育む事業、「地域活動」「社会参加」に繋がる事業、生涯学習を始めるきっかけとなる事業を厳選して実施する。 						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	フロアコンサート	新規/継続	H24休廃止	整理番号	0130101000 - 008				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	款	総務費			連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費				自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度
	目	生涯学習センター費							
	事業	生涯学習センター運営事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		根拠法令・要綱等						
個別計画	生涯学習ビジョン			実施方法	直営	○	補助・助成		その他
			委託			指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	<対象（誰を・何を）> (1)市民等 (2)生涯学習センター							
	意図（どういう状態にしたいのか）	<意図（どういう状態にしたいのか）> (1)多くの市民に良質な音楽を聴く機会を提供する。 (2)定期的にフロアコンサートを開催することにより、生涯学習センターの認知度を上げる。							
事業内容	主に明石にゆかりがあるプロの演奏家によるミニコンサート「ときのまちの小さな音楽会」を月1回、生涯学習センターのフロア（子ども図書館）、またはホールで開催する。								
	<平成22年度> 年間11回開催 観客：延べ1355名								
	<平成23年度> 年間12回開催予定（年1回ホールで開催） 観客：延べ1728名								
	<平成24年度> 年間12回開催予定（年1回ホールで開催） 観客：延べ1770名								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
23決算	808	0	808	0	0	0	808	25年度人員配置（人）				
24当初予算	889	0	889	0	0	0	889		正規		ｱﾊﾞｲﾄ	
24決算	687	0	687	0	0	0	687		再任用		その他	
25当初予算									任期付		合計	
24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額					
	報償費	出演者謝礼	610									
	役務費	グランドピアノ調律代・舞台操作人件費	59									
	使用料及び賃借料	音楽著作権演奏使用料	18									
	合計		687		合計							

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-008	事務事業名	フロアコンサート
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	観客数	各回観客数の合計	人	1,728	1,770	/
						/
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成24年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成24年度限りで休廃止						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 001				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5415			
	目	あかねが丘学園費				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度
	事業	あかねが丘学園運営事業							
		根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則						
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営			○	補助・助成	その他
	2-5 生涯学習の推進			委託			指定管理		
個別計画	生涯学習ビジョン								

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市在住の60歳以上の人
	意図（どういう状態にしたいのか）	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。

事業内容	あかねが丘学園は、3年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。
	<p>【平成23年度】</p> <p>①本校 コース: 景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流(各学年定員165人) 学生数: 310人(1学年123人、2学年93人、3学年94人) 学習日: 月曜 クラブ活動、火曜 地域活動支援、水曜 3学年、木曜 2学年、金曜 1学年</p> <p>②地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。 ・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前: 共通講座(学年全体で受講)、午後: 専攻コース(各専攻コースで受講) 主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>④地域活動グループ数: 79、地域活動実施回数: 1001回</p> <p>【平成24年度】</p> <p>・事業内容は、平成23年度と同様に実施した。 学生数: 283人(1学年89人、2学年109人、3学年85人)</p> <p>【平成25年度】</p> <p>・事業内容は、平成23・24年度と同様に実施する。 学生数: 299人(1学年124人、2学年78人、3学年97人)</p>

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	22,580	6,160	28,740	0	0	5,070	23,670	正規	0.50	パート	0.00
24当初予算	23,210	10,650	33,860	0	0	5,500	28,360	再任用	0.00	その他	1.40
24決算	21,827	10,650	32,477	0	0	4,657	27,820	任期付	0.60	合計	2.50
25当初予算	22,751	11,330	34,081	0	0	5,316	28,765				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	8,430		8,853		
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,168	2,400				
役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	117	247				
委託料	社会教育コーディネーター委託料	10,371	10,210				
備品購入費	共通講座室テーブル購入	194	276				
その他		547	765				
合計			21,827	合計			22,751

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-001	事務事業名	あかねが丘学園運営事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	122	89	124
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数(西分校を含む)	回数	1001	851	1,000
指標で表せない成果						
ボランティア活動の活動先は、高齢者施設、保育所、幼稚園、放課後児童クラブをはじめ市主催のイベント等多彩である。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性			×	×	×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<ul style="list-style-type: none"> ・専攻コースの設定やカリキュラムの見直し等、市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。 ・積極的に行っている広報活動を継続発展させていく。 ・あかねが丘学園、あかしニアカレッジ、コミセン高齢者大学について、高齢者の生涯学習全体の見直しの中で利用者ニーズや施設の老朽化等の状況を踏まえ、あり方を検討する。 						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 002				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計							
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	あかねが丘学園費							
	事業	あかねが丘学園維持管理事業							
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園					
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5415					
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務		開始年度	昭和 56 年度		
			根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則					
			実施方法	直営	○	補助・助成	□	その他	□
				委託	□	指定管理	□		□

事業の目的	対象（誰を・何を）	あかねが丘学園の施設、設備
	意図（どういう状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の運営を円滑に行ない、学生が学習等で学園を安全・快適に使用できるように維持管理する。 ・市民が学園を安全・快適に利用できるよう、また職員が効果的に執務できるよう学園施設・設備の状態を良好に保つ。

事業内容	①施設・設備の保守・点検・修理	②電気・水道・ガス施設点検、樹木剪定
	③清掃 高架水槽定期清掃、屋内・屋外清掃委託	④警備 機械警備委託

事業内容	事業のコスト（単位：千円）	事業費	人件費（参考値）	総事業費（参考値）	財源内訳				25年度人員配置（人）				
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
		23決算	9,576	6,780	16,356	0	0	0	16,356				
		24当初予算	10,865	8,590	19,455	0	0	0	19,455	正規	0.30	アハハ	0.00
		24決算	9,241	8,590	17,831	0	0	0	17,831	再任用	0.00	その他	0.70
	25当初予算	10,965	8,450	19,415	0	0	0	19,415	任期付	1.20	合計	2.20	

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	施設設備補修費、光熱水費（電気料金、ガス料金、水道料金）	7,278		需用費	施設設備補修費、光熱水費（電気料金、ガス料金、水道料金）	8,300
	役務費	簡易専用水道検査手数料	26		役務費	簡易専用水道検査手数料	18
	委託料	設備関係保守点検費用	1,931		委託料	設備関係保守点検費用	2,635
	負担金補助及び交付金	防火管理者講習	6		負担金補助及び交付金	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	12
		合計			9,241		合計

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-002	事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
・日常及び定期など計画的な点検等で不具合が見つかった場合や修繕箇所が発生した場合、できるだけ速やかに対応するようにしている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・あかねが丘学園は明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業を実施している施設で、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。 ・学園を運営する上で、施設・設備を快適に使用できるよう維持管理することは不可欠である。 ・施設の老朽化は否めないが、施設・設備を適宜補修しているので概ね良好に維持されている。 ・日常の清掃(教室、廊下、剪定、草刈、グラウンド整備など)は学生が実施するなど経費の節減に努めている。 ・今後も施設・設備の補修については、不具合箇所の早期発見・早期補修が経費の削減につながるので迅速な対応に努める。 ・将来の学園運営には、施設の老朽化による大規模改修が不可欠であるが、なかでも避難所でもある朝霧コミセンのある体育館など施設全体の耐震化を検討していく必要がある。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園西分校運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 003		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5415				
	目	あかねが丘学園費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度		
	事業	あかねが丘学園西分校運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則				
施策分野		2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進	実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画		生涯学習ビジョン			委託		指定管理	
事業の目的	対象（誰を・何を） 明石市在住の60歳以上の人							
	意図（どういう状態にしたいのか） 高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。							
事業内容	あかねが丘学園西分校は、2年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。 【平成23年度】 ①分校 コース：健康科学・陶芸文化(各学年定員51人) 学生数：66人(1学年32人、2学年34人) 学習日：火曜 1学年、金曜 2学年 ②学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。 ③学習スケジュール：授業は週1回、年間35日程度、午前：共通講座(学年全体で受講)、午後：専攻コース(各専攻コースで受講) 主な年間スケジュール：4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式 【平成24年度】 ・事業内容は、平成23年度と同様に実施した。 学生数：71人(1学年43人、2学年28人) 【平成25年度】 ・事業内容は、平成23・24年度と同様に実施する。 学生数：64人(1学年27人、2学年37人)							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	14,598	4,260	18,858	0	0	990	17,868	正規	0.20	パート	0.00
24当初予算	16,370	6,260	22,630	0	0	1,200	21,430	再任用	0.00	その他	0.90
24決算	14,664	6,260	20,924	0	0	1,065	19,859	任期付	0.20	合計	1.30
25当初予算	16,250	5,220	21,470	0	0	1,080	20,390				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	3,222		3,222	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)
旅費	市内出張旅費	104	104	旅費	市内出張旅費	106	
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	542	542	需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	1,180	
役務費	通信運搬費	68	68	役務費	通信運搬費	120	
委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委託	3,826	3,826	委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委託	3,750	
使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	6,902	6,902	使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	7,202	
合計			14,664	合計			16,250

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-003	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	32	43	27
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・本校が市東部にあるため、西部地区の市民ニーズに対応している。 ・地域により密着したボランティア活動を展開している。 						

	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性			×	×	×	
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数は、定員に満たないため学生の募集については、学園情報の継続的な発信や公開講座・オープンキャンパスの開催など積極的なPRを展開していく。 ・高齢者のニーズを反映したカリキュラムの改善や、新しい魅力ある講座の調査研究を行う。 ・今後も、カリキュラムの見直し等、事業の目的に沿った市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。 ・あかねが丘学園、あかしニアカレッジ、コミセン高齢者大学について、高齢者の生涯学習全体の見直しの中で利用者ニーズや施設の老朽化等の状況を踏まえ、あり方を検討する。 						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。